

2019年度 ビクトリア大学夏季英語研修報告書

2019年8月5日(月)～2019年8月25日(日)

参加人数 20名

2019年度 ビクトリア大学夏季英語研修 報告書 目次

1.(氏名は省略してあります)	27. ビジネスコースの企業訪問 (Business Visit) の内容と感想 (参加者のみ回答)
2.(学生番号は省略してあります)	28. 寮について① 滞在した寮の名前は何ですか?
3. 性別	29. 寮について②
4. 学年	30. 寮について③ 寮の設備(共有の設備含む)、部屋などの印象、感想、来年度参加者に伝えたいことなど
5. 参加プログラムを知ったきっかけは、何ですか? (複数回答可)	31. Optional Activity のバンクーバー旅行に参加した人にお聞きします① 旅行中に滞在したホテルについて
6. 2019年4月8日(月)の夏季英語研修説明会に参加しましたか?	32. Optional Activity のバンクーバー旅行に参加した人にお聞きします② ホテルの設備、部屋などの印象、感想
7. 本プログラムへの参加を希望した理由は何ですか? (複数回答可)	33. Optional Activity に参加した人にお聞きします Vancouver Trip, Butchard Gardens, Whale Watching, Kayaking の感想、良かった点、改善してほしい点など
8. 研修期間(3週間)について	34. 研修費用について
9. 現地プログラムでの自分のクラス(レベル)の名前	35. 食費について① 研修中の食費に(カナダドルで)大体いくら使いましたか?(ミールカード分は除く)
10. クラスのレベルについて	36. 食事について② 自炊、レストラン、カフェテリア利用など。朝食・昼食・夕食について、それぞれ、どのような場所で何を食べましたか?
11. プレイスメントテスト(クラス分けテスト)について	37. その他の費用① 航空券、プログラム費用、保険、食費以外に(カナダドルで)大体いくら使いましたか?
12. 現地でのプレイスメントテストは、どのように行われ、どのような問題が出題されましたか?(2019年度夏季は現地で実施)	38. その他の費用② 上記は何の費用でしたか?具体的に書いてください。
13. 授業内容(午前中の授業)について	39. レンタルWi-Fiを使用した感想
14. 授業(午前中の授業)はどのように進められましたか?どんな様子でしたか?	40. 電子機器の使用など日本から持参した電化製品
15. 授業内容(午前中の授業)についてよいと思った授業内容、先生など	41. 持参すればよかったと思った電化製品
16. 授業内容(午前中の授業)についてよくないと思った授業内容、先生など	42. 持参したが不要だと思った電化製品
17. クラス構成について①(午前中の授業の)クラスには、自分を含めて何人いましたか?	43. 日本の家族、友人との連絡手段
18. クラス構成について② そのクラスに立教生は(自分を含め)何人いましたか?	44. プログラム中の課外活動(研修費用に含まれている活動)について
19. クラス構成について③ そのクラスには、立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか?	45. 自由時間(放課後、週末など)について
20. ビジネスコースについて(参加者のみ回答)	46. ビクトリア大学の施設(CARSA Gym, 図書館)を利用した感想
21. ビジネスコースの費用について(参加者のみ回答)	47. 危機管理(研修中、危険な目に遭ったこと、避けたほうがよいと思った地域や時間帯など)
22. ビジネスコースのクラス構成について① クラスに(自分を含め)何人いましたか?(参加者のみ回答)	48. 現地での研修を終えて② 他の学生に、本プログラムへの参加を
23. ビジネスコースのクラス構成について② クラスに立教生は(自分を含め)何人いましたか?(参加者のみ回答)	49. 現地での研修を終えて② 上記の回答(「すすめる」「すすめない」「どちらでもない」)の理由を書いてください。
24. ビジネスコースのクラス構成について③ 立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか?(参加者のみ回答)	50. 英語力について
25. 授業(ビジネスコース)はどのように進められましたか?どんな様子でしたか?(参加者のみ回答)	51. 研修を通じて発見したこと、学んだこと、自分が成長したと思う点など
26. 授業(ビジネスコース)の内容について① 良かった点と改善してほしい点など(参加者のみ回答)	52. 来年度参加者へのアドバイス

1. 氏名

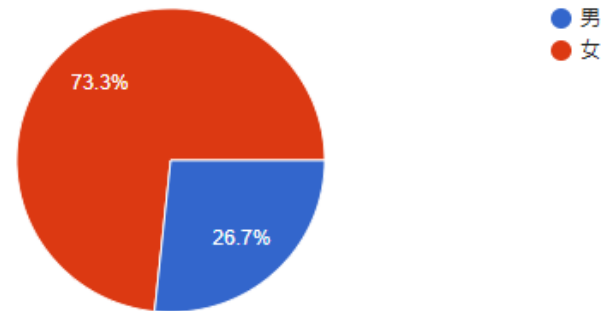
氏名は省略してあります。

2. 学生番号

学生番号は省略してあります。

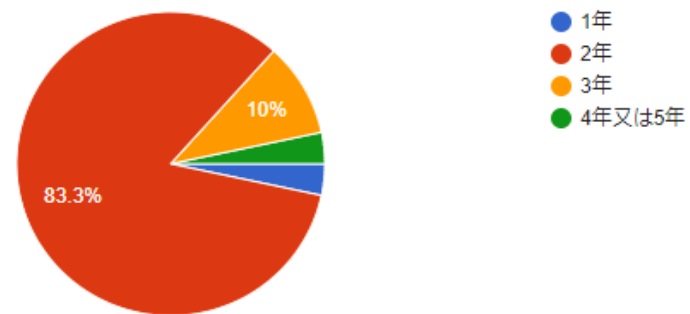
3. 性別

30 件の回答



4. 学年

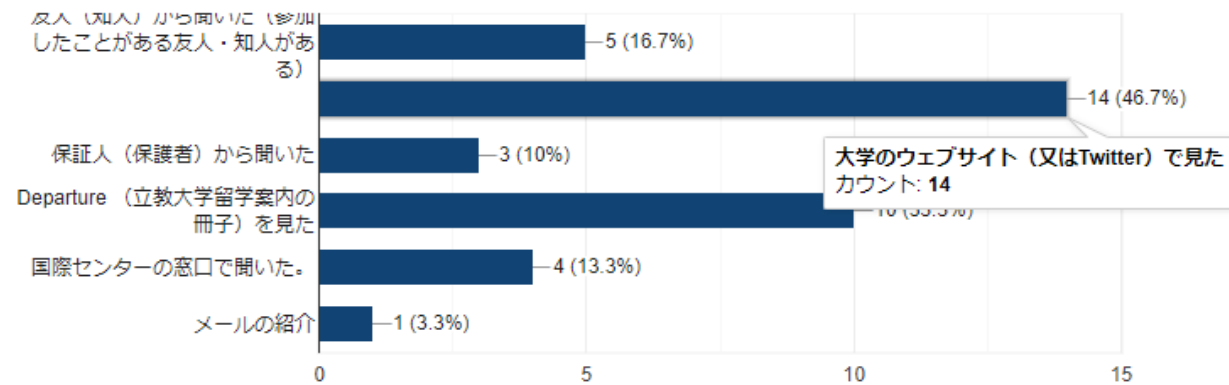
30 件の回答



5. 参加プログラムを知ったきっかけは、何ですか？（複数回答可）

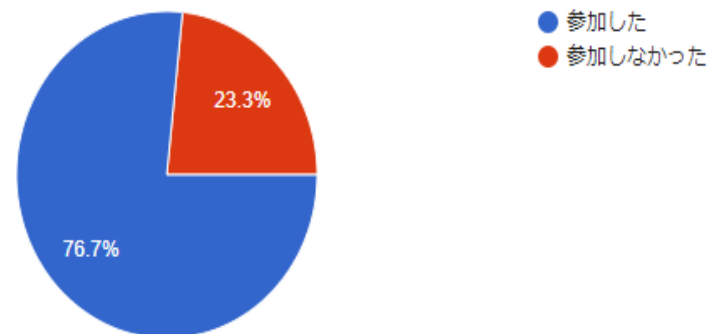


30 件の回答



6. 2019年4月8日（月）の夏季英語研修説明会に参加しましたか？

30 件の回答

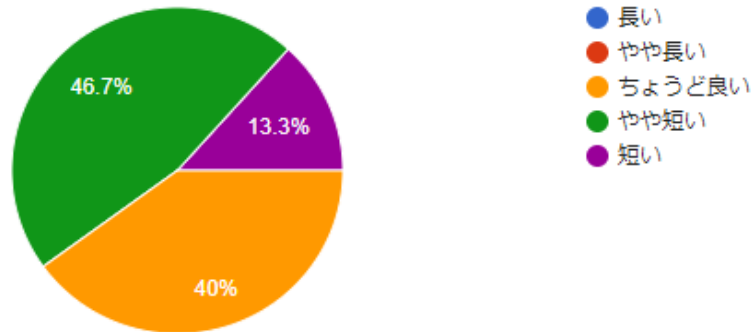


7. 本プログラムへの参加を希望した理由は何ですか？（複数回答可）

- 研修先大学のある場所(国)が魅力的または興味があった 22人
- 時期、期間がよかった 22人
- 単位が認められる 19人
- 研修内容(授業内容)が魅力的または興味があった 16人
- 滞在形態(学内の寮に滞在する) 13人
- 研修先大学のある場所(国)が治安がよい 11人
- 研修中の課外活動(Optional Activityなど)が魅力的または興味があった 11人
- 保証人(保護者)にすすめられた 5人
- 長期留学の前に短期研修に参加してみたかった 5人
- 費用が安い(妥当である) 2人

8. 研修期間（3週間）について

30 件の回答



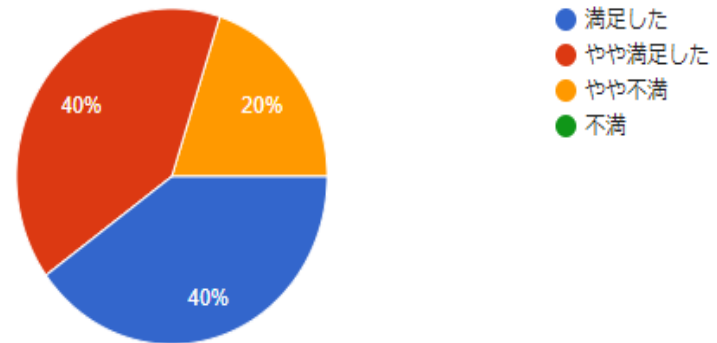
9. 現地プログラムでの自分のクラス（レベル）の名前

- 2B
- 3B
- 2F
- 4A
- 3D
- 3B

2 - G
3B
3A
3D
2 B
2B
3A
3A
3C
2A
3C
pre-intermediate
3B
1C
2 G
2F
1 C
2D
2C
3 D
3b
4A
2
3B

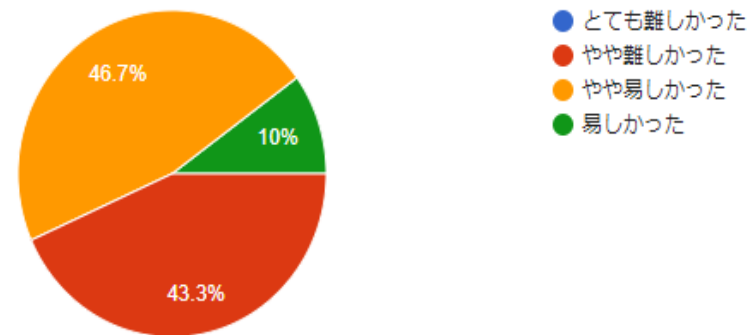
10. クラスのレベルについて

30 件の回答



11. プレイメントテスト (クラス分けテスト) について

30 件の回答



12. 現地でのプレイズメントテストは、どのように行われ、どのような問題が出題されましたか？ (2019年度夏季は現地で実施)

英作文

TOEICのスピーキングを複数人で行う感じ

筆記は作文形式、スピーキングは三人組での先生との対話だった。

日常生活や志望動機などの説明、写真を見て状況を説明、三人でディスカッションといった三つの形式だった。

30分？くらいのライティングテスト(短めの問いx3と、長めのエッセイ1つ)のあとに、3人1組で15分ほどのスピーキングテスト。内容は数問の質問、絵を見てディスカッション、3人で短いディスカッション。

3~4人のグループで行われ、3つのパートに試験内容は分かれていた。1はウォームアップのような軽い質問、2は絵を渡されてその様子を描写するもの、3はそのグループであるひとつのトピック(私はもし自分が住むなら都会と田舎どっちがいいかというもの)について議論するものだった。

作文三題、口頭問題三題

作文は、出身地について良いところを述べること、自身の家族について述べること、あと1つは覚えていません。

口頭での問題は写真を見てそれについて述べる問題と、残りは覚えていません。

英作文の筆記試験実施後、3名ごとに集められディスカッション。

筆記試験は質問に自由に答えるタイプ。

筆記試験と面談に分かれていた。筆記は、日常的な内容についての質問に対して、自分の回答を記入するという形式であった。面談は、3人の生徒に対し2人の先生がついて行われた。先生の役割はおそらく一人が質問役、一人が監視役である。日常的な内容を聞かれ、受け答えした。それと生徒3人でディスカッションをする機会があり、その際には、立教大学の必修のディスカッションで学んだことが役に立った。

ライティングについては、短い問いに答える問題が3つと、お題に対して長め(1ページ分くらい)の意見をかく問題があった。リスニング・スピーキングについては、生徒3人が教室に呼ばれ、各々短い問いに対して答える問題と、ある絵について状況を説明する問題と、3人でディスカッションすることがあった。

最初に簡易的な自己紹介筆記試験、そのあとに自己紹介、情景描写、ディスカッションのスピーキングテストが実施された。

筆記テストは一つの教室ごとに10人程度で集まり、あなたの国についてどう思うか、などの問題が出た。スピーキングテストは三人が一教室に集まり、個別に写真を見て答える問題などが4問程度、そのあとにはディスカッション形式で問題が出された。

writingのテストとspeakingのテストが実施された。writingでは自分の趣味や住んでいる地域についての問題で、speakingのテストでは、この絵をみて質問に答えなさいという形式だった。

ライティングは、個人的なことを聞かれる問題が多かった。

スピーキングは、3人一組で行われて、自分について聞かれる問題と写真を見て状況を説明する問題があった。

Writingは四問ほど簡単な作文を行いました。内容としては「あなたの住んでいるところはどんなところですか」みたいな感じです。

Speakingは先生一人に対し生徒が三人いる形式でした。最初に先生が生徒一人に対し簡単な質問をし、それに答えていきました。次に「この写真を見てわかることを説明しなさい」みたいなやつを一人ずつやりました。最後に簡単なディスカッションを三人でやって終わりました。

4題くらい英作文を書いた後、3人ずつでスピーキングテストを行った。英作文のお題は「休日何をするか」「自分の住んでいる場所のいいところ」といった内容だった。スピーキングテストでは最初に先生からの質問に簡単に答えた後、イラストを見て状況を説明したり、「旅行に行くなら家族か友達どちらと行くか」という内容でディスカッション。自分のことについて質問されたり、イラストについて質問されたりした。イラストについては自分で状況を想像して答える問題だった。

自己紹介 写真の状況説明

テーマについての自由記述と数人でのスピーキングテスト

スピーキングテストは先生からの質問に答えるものと他の生徒との短いディスカッション

ライティングでは英語の質問に対して長めの英文で答える問題が出題され、スピーキングでは講師の質問に答えるものと生徒3人で会話をするものがあった。

ライティングとスピーキングがあった。スピーキングでは写真を見せられ、この写真の状況を説明せよというような問題だった。

三人一組での口頭試験が三問出された。うち二問は自分の家族や生活スタイルについての質問で最後には三人で都市と田舎のどちらが住みやすいかという質問についてディスカッションを行った。

ライティングは簡単なお題に対して指定された行数書く。スピーキングは身近なことについて回答したり、他の受験者とディスカッションすることもあった。

試験官の質問に答える問題

プリントを見てそれについて説明する問題

ディスカッション

1グループ3人対教師1人での、個人ワークとグループディスカッション。個人ワークでは、写真を説明する問題が出題され、グループディスカッションでは、旅行する際に家族か友人どちらと行くのが良いかについて議論した。

4つ程の質問項目についてのwritingと、3人1組でのspeakingのテスト。

writingの方は、自分の趣味や習慣、故郷についての問題がほとんどで、5行程で解答するものが3~4つと、10行以上の長めに解答するものが1つ出題されました。

3人のグループテストで、先生からそれぞれ質問が2問（自分自身について、プリントを見て状況説明）、お題が与えられ3人でディスカッション。

スピーキングテストとライティングテスト

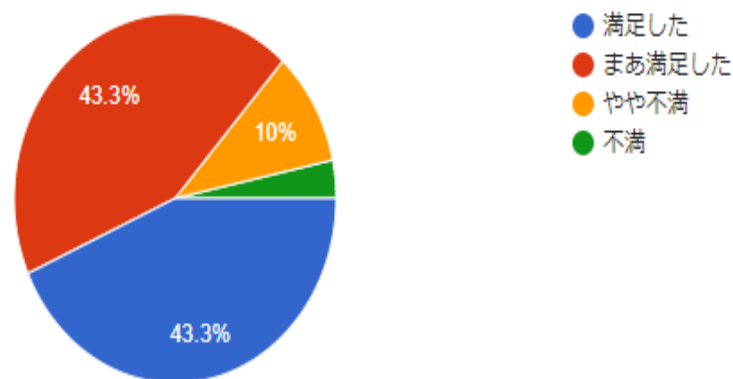
プレイズメントテストはwritingとspeakingの2部門に分けて実施された。writingでは、自分の勤める場所や故郷について短文で答える問題が3つ、自分の故郷について長文で答える問題が1つあった。speakingでは、生徒3人に対して面接官2人という形態で実施された。はじめに自分のことについて3つほど軽めの質問があり、その後絵の描かれたカードを渡され、その絵の状況を英語で説明するという課題を課された。最後に、生徒3人でグループになり、与えられたテーマについてディスカッションをするという課題を課された。プレイズメントテストは、その時点での生徒1人1人の英語レベルを知るためのものなので、全体的にリラックスした雰囲気で行われていたと感じた。

簡単な英語でのやりとり

対話形式、ディスカッションなど

13. 授業内容（午前中の授業）について

30件の回答



14. 授業（午前中の授業）はどのように進められましたか？どんな様子でしたか？

会話中心

8：40～10：30 10：50～12：45に分けて行われる

基本的に五人もしくは三人グループでのディスカッションが多かった。

発音練習や英語の歌の穴埋めクイズもあり、文法を勉強するというよりはスピーキング重視だった。

1コマ目は文法やライティングが主で、書いたりや文法が多い。数人で話し合うこともある。2コマ目はスピーキングが主なので、文法よりかは単語や喋る時間が多かった。グループや2人組になって話し合うことでほとんど授業が進んだ。

自分で英語で話すというものを前提にしたもので、その中で発音、基礎的な文法、リスニングなどアクティブラーニングのような形をとられて行われた。

先生がフランクに話しかけてくれて、それに対して英語で答えるという日常会話的な話題を扱ったり、教科書に沿って文法事項を勉強したりする中で、同じクラスの様々な国籍のクラスメイトとの文化の違いに気付いたり、英語でコミュニケーションをとることに重きを置かれていました。和気あいあいとしていた様子でとても居心地が良かったです。

ネイティブ講師の監督の下でワークショップ、ディスカッションやプレゼンを行った他、語彙や発音の習得もあった。

先生がトピックに対しての意見を生徒に求めて、楽しく会話しながら進む感じだった。リーディングやリスニングなどの小テストも行われた。グループ発表なども行った。プレゼンの準備が中心だった。また、テキストを利用した授業があった。みんな積極的に参加していた。

主に文法とスピーキングの練習。

簡単な文法とミニゲームのほかに、多数のディスカッションが行われた。立教大学の英語の授業に似ていた。

主にアウトプットがメインの授業だった。クラスメイトとあるテーマについて話し合ったり、レストランを想定した、ロールプレイングを行ったりした。また文法の勉強も行った。この文法は初歩的なものを復習するという形であった。

教科書を使って授業をしていたが、ただ座って聞く授業ではなく、クラスの人と話し合ったり、ペアになって問題を解いていくことが多かった。授業の最初のほうは、隣の人と簡単な会話をする時間があった。時々テストがあったし、宿題も出る。

業に参加していけるよう先生が配慮していたような気がします。生徒同士で英語で会話できる機会も多く設けられ、他国の人含めすぐにみんな仲良くなり終始明るい雰囲気です。授業は進みました。

主に文法や単語を学習したが、一方的に教わるのではなく発言を求められる機会が多かった。2人ペアで行うペアワークも多く、出されたテーマについてのディスカッションなどを行った。

中学校で習うレベルの文法を英語でも一度教わるというような形。また日常よく使われるフレーズも取り上げられ、ゲームなどを使いながら楽しく授業が進められた。基本的に先生も生徒も全て英語で話す、9割日本人だったため少し日本語が聞こえるような状態だった。

一人一人発言が求められる参加型の授業

みんなディスカッションをしたりゲームをしたりした。

会話形式が多かった。常に賑やかだった。

先生が一方的にしゃべるといよりは生徒も参加するような様子だった。

参加を求めており、先生の問いかけに対して生徒が発言することで進んでいきました。またグループワークも多かったため生徒同士も交流を深められ明るい授業風景が見られたと思います。

洋楽でリスニングを行ったり、楽しく英語でゲームしたりと堅すぎない雰囲気だった。

先生が生徒のニーズを聴きそれに対応する授業を展開してくれる

ゲームやディスカッションを通して、英語を話す・使うことに慣れるための授業であったと思います。国籍、年齢問わずコミュニケーションを取っていたので雰囲気は良かった。

1年生の時に行った、ディスカッションやR&Wの授業をイメージしてもらえればよいと思います。様々なテーマで、2～4人組になって5分～15分程英語で会話する授業が主でした。他にも文法や、洋楽を用いたリスニングの授業も行いました。

基本的に会話重視の授業で、和気あいあいとした雰囲気での授業だった。発言もしやすく、先生と生徒同士も仲が良かった。
スピーキングとライティングに分けられており、積極的に発言することが求められる。
授業は2コマに分かれていた。1コマ目は8:45~10:30で主にreadingやwritingを扱い、2コマ目は10:50~12:45で主にlisteningやspeakingを扱っていたと感じる。授業の内容には多少ばらつきはあったが、主にテキストのテーマに沿って進められた。どちらのコマの先生から意見を求められたり、クラスメイト同士で意見を交換しあったりなど、英語を使う機会はとても多いと感じた。
ほとんど会話練習が中心
グループワークやグラマーの授業。
15. 授業内容（午前中の授業）についてよいと思った授業内容、先生など
英語で話す機会が多いところが良かった。
プレゼンテーション作業、small talkingの時間を設ける
ビクトリアに関する問題が單元ごとにあり、ビクトリアの基本情報を学ぶことができてためになった。映像や曲を使うことも多く、楽しかった。
先生はどちらも優しく分かりやすかった。授業内容はテキストを利用したり先生オリジナルのテーマだったり、つまらない授業ではまったくなくて、話し合うのが特に楽しかった。
セレスト、ジャッキー
Laura先生はとてもフランクに話しかけてくれて、生徒に偏りがないように話題を振ってくれたり、理解できているかどうかをちゃんと見定めながら会話してくれていました。
英語圏の歌の聞き取り。
先生はたくさん話す機会を与えてくれる。そこで積極的に発言することで、自分の発現量は増えた。さらに、ペアワークなども外国の生徒とした際は、お互いに不慣れな英語を使いながらコミュニケーションを図るという貴重な体験ができた。
よかった。
先生が友好的。一人一人が発言しやすい環境だった。（クラスにもよると思うが）
授業中に映像や音楽を使っていたところがよかった。また、先生は常に優しく、とても雰囲気の良い授業だった。
アウトプットメインの授業だったので、話す機会がたくさんあったため、とても効果的であった。違う国籍の人とペアワークを行なって話したりと、とても貴重な経験が出来た。私のクラスを担当してくれた、Andria.Sikaのお二人は、共にとても優しく良い先生であった。
グループでプレゼンをしたり、課題に取り組むことがあったので、クラスの人とコミュニケーションをとれる機会が多かった。
Small talkの流れやレストランでの流れを勉強できたのは、すぐに実践できたことだったのでよかったです。また、私のクラスではグループプレゼンテーションが行われ、各グループに一人他国の人が居たので、準備の段階からたくさん英語でコミュニケーションが取れたのでよかったです。
文法の学習では細かいニュアンスの違いを学ぶことができてよかった。また、クイズ形式で習った内容を確認したり、洋楽の歌詞を穴埋めしながらリスニングの練習をするなど楽しく学べる内容になっていた。
ハンカーバーやビクトリアの施設についてのプレゼンテーションは自分たちで準備するため少し大変だったがやりがいがあり、英語をたくさん使う機会になったため有意義だった。アレックス先生は生徒を否定せず常に笑顔で授業を進めてくれ、毎回楽しい授業時間だった。
willとbe going toの違いを詳しく学んだ
グループでビクトリアについてのポスターを作って発表するのは、少し緊張したけど面白かった。
授業中英語しか使えなかったのが良いと思った。
ビクトリアのおすすめする点をポスターにしてプレゼンしたこと
Mrs,Amberは授業の開始にウォーミングアップもかねてカナダの有名な歌手の歌を使ってリスニングゲームなどを行ってくれたので英語に触れながらカナダの文化も学べてとても楽しかったです。
緊張気味の学生をリラックスさせるかのようにおどけて見せたり、積極的に疑問点がないか聞いて回るなど、こちらが楽しく学べるように配慮してくれました。

内容自体は簡単なもの(中学校レベル)がほとんどでこの授業が良かったというものはないが、発音や言い回し単語など先生がその都度丁寧に教えてくれて良かったです

先生は2人とも親切で優しくかった。英語に関する質問はもちろん、ビクトリア市内についても沢山教えてくれた。

先生は間違えた文法でもとにかく英語を使って話し続けることが大事だとおっしゃっていました。そのため、毎日違ったテーマで行うペアでのディスカッションが、自分の実力の向上を感じられたと共に、様々な意見を聞くことができて、楽しかったです。

ネイティブの英語に対する文法や会話表現を学べたのが良かった。先生もフレンドリーで間違えても恥ずかしく思わない雰囲気づくりをしてくれた。

自分の考えや感想について話す時間が非常に多かったので、座学とは違ってアクティブで楽しかった。

1コマ目の授業では、15分で1分間のスピーチを考えて、みんなの前で発表するというものがあった。15分では完璧な文章で書かれた原稿は作ることができず、軽いメモ程度のものしか準備できない。しかしこれによって、頼りないメモを頼りにしながら、いかにその場で自分の英語を使って表現できるかという力を養われるととてもいいも日記の添削をしてくれた

stereotypeについてのディスカッションで各国のイメージについて皆で語り合うのが楽しかった。

16. 授業内容(午前中の授業)についてよくないと思った授業内容、先生など

特になし

なし

途中で先生が変わってしまい、授業スタイルが少し変わってしまったのは困った。

特になし。

特になし

特にありません。

はっきり言って立教で必修の英語ディスカッションの方が英会話としてレベルが高いように思えた(無論、プレイスメントテストの結果であるため自業自得だが)。

日本人が多すぎること。

特にない。

先生が話過ぎる時があったかもしれない。

特になし

文法は、もうすこし発展的な内容も、少し勉強できたら良かったと思う。

特になし

文法を勉強する機会があったのですが、簡単なもの(現在完了形など)だったため、不満を感じた人もいたのではないかと思います。個人的には一度日本語で学んでいたものを英語で学べて面白かったですが。

また授業内容ではないのですが、クラス内の英語のレベルの差が割と大きかったことと、思っていたより日本人ばかりだったことは不満でした。

既に知っている文法について詳しく説明しているときは少し退屈に感じてしまった。

基本的によくないと思った授業はないが、現在完了について先生も文法を勘違いしていたところがあったため少し混乱した。

基礎的な内容が多かった

特になし。

文法が中学生レベルであり簡単すぎた。

内容がbe動詞とか、現在進行形など簡単すぎた点

プレゼンテーションが各授業で一度ずつありましたがあまり十分にポスターなどを作る時間が得られなかったのは悔しかったです。

特にない。優しく明るい先生で、集中力も保てるような授業だった。

同じクラスの私語があまりにも多かった
先生が注意や工夫しても改善されなかった
クラスメイト以外は不満ありませんでした。

無いです。

特になし。でも、もう少しレベルの高い文法を教える授業があってもいいかなと思いました。基本的に中学から高校レベルの文法を勉強しました。

特に思い当たらないです。

特になし

1コマ目の先生は少し話すのが早かった。また、2コマ目の先生は、説明がまわりくどくて少し分かりにくかった。

英語関係なくできるゲームが割とあった

発音についての授業が無かったのは残念だった。

17. クラス構成について①（午前中の授業の）クラスには、自分を含めて何人いましたか？

15

16名

15

14

16

16

14

20

16

3

20

15人

16

16

16

15

17

14

16

16

14

15

16

14

15

14

16

13人

15人程度

16

18. クラス構成について② そのクラスに立教生は（自分を含め）何人いましたか？

4

8名ほど

2

2

3

5

2

4

4

3

3

4人

4

4

2

1

2

3

6

2

2

2

2

0

1

3

5

3人

3人

7

19. クラス構成について③ そのクラスには、立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか？

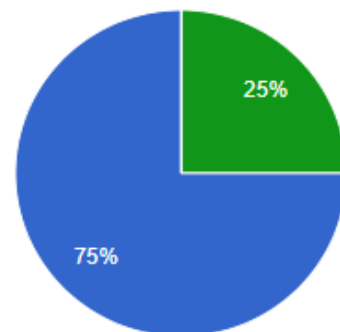
日本人15人程度

韓国2人 中国1人 ドイツ1人 残りが日本で東京電気大1人 法政3人

韓国人が2人日本人が13人で、立教の他に法政、名古屋大、中京、関西学院、久留米大の人たちがいた。
韓国人が3名と台湾人が1名。あとは関西や東京等の大学の生徒。男子は2人だけ。
多国籍だと韓国人3人中国人1人、他地域だと関西から2人、九州から1人、それ以外は立教大学生以外の関東圏の大学生だった。
韓国2人、中国1人、ドイツ1人、日本7人
1名の韓国人を除き、すべて日本人大学生。慶應1名、法政、中京、久留米から数名。
韓国2人、中国1人、ドイツ1人。あとは法政大学とか東京電機大学とか中京大学とか。
日本人が10人韓国の方が2人ブラジルの方が1人アルゼンチン(?)の方が1人
日本大学、東京電機大学、関西学院大学、神田外語大学、韓国の大学、中国の大学
法政大学、東京電機大学、関西大学など。韓国人が1名いた。
韓国の大学生、関西学院大学が4人、成蹊大学、法政大学、名城大学それぞれ1人ずつ参加していた。
コロンビア1人、ブラジル1人、韓国2人、日本8人（法政、中京など）
韓国人の大学生が二人、コロンビア人の大人が一人、ブラジル人の大人が一人、法政大学が二人、中京大学が三人、慶応大学が一人、宮崎国際大学が一人、久留米大学(福岡県)が一人
日本11人、韓国4人、中国1人
関西学院大学、日本女子大学、中京大学、久留米大学、韓国人
大半日本人 韓国人4 中国人1
韓国の生徒が1人他にも慶應大学や法政大学、福岡や名古屋の大学の生徒がいました。
法政大1人、成蹊大2人、関西学院大1人、東京電機大1人、韓国2人、中国1人、ドイツ1人
全員日本人で、東北や関東、東海や関西の大学の人でした。
韓国の大学の学生、中京大学、慶應義塾大学、久留米大学、法政大学
覚えているのは、法政大学一名、中京大学一名、韓国の学生が二名。
日本人のみ
中京などが多かった
法政などの人もありました
韓国人、関西、福岡からの大学生
日本人 14人 韓国人 1人
韓国人3人、中国人1人、東京電機大学、日本大学、関西学院大学など
韓国人2名、中国人1名、ドイツ人1名
学習院大学、福島医科大学、その他日本人の学生が数人、韓国人の学生が3人、台湾人の学生が1人いた。
韓国人が1人、他は全員日本人
ドイツ人、中国人、韓国人法政大や関西からの学生も

20. ビジネスコースについて（参加者のみ回答）

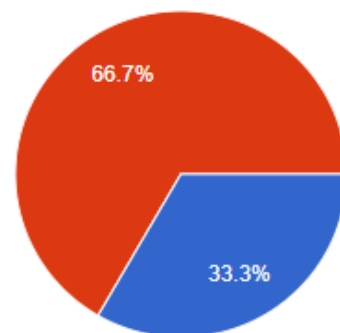
4件の回答



- 満足した
- まあ満足した
- やや不満
- 不満

21. ビジネスコースの費用について（参加者のみ回答）

3件の回答



- とても高い
- 妥当である
- やや安い
- 安い

22. ビジネスコースのクラス構成について① クラスに（自分を含め）何人いましたか？（参加者のみ回答）

※回答者3名

8

8

8

23. ビジネスコースのクラス構成について② クラスに立教生は（自分を含め）何人いましたか？（参加者のみ回答）

※回答者3名

3

3

3

24. ビジネスコースのクラス構成について③ 立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか？（参加者のみ回答）

※回答者3名

どのような国・学校のひとかを堪えるのに半角数字だけじゃ無理です。

コロンビア人の教授4名と、日本人の英語講師1名と、立教生としては場違い感が感じられる構成だった。

5

日本人女性1 コロンビア人4

25. 授業（ビジネスコース）はどのように進められましたか？どんな様子でしたか？（参加者のみ回答）

※回答者3名

た。

ビジネスについての単語、会話の勉強、最終プレゼンの組み立ての三つが中心

最終プレゼンに向けての準備を毎授業少しずつ進めていく形式

26. 授業（ビジネスコース）の内容について① 良かった点と改善してほしい点など（参加者のみ回答）

※回答者3名

良かった点は、ハイレベルな英語に関われたこと。

悪かった点は、コロンビア人の英語はスペイン語同然で、第二外国語スペイン語履修してなかったら痛い目を見たらろうということ。

パンフレットに書かれていた内容と違った。

英語で長時間プレゼンを行う貴重な経験ができた

27. ビジネスコースの企業訪問（Business Visit）の内容と感想（参加者のみ回答）

※回答者3名

訪問で皿に色を塗った。驚いたのは、250ドルかかっていることだ。ビジネスコースのおよそ半分の額がお皿に生まれ変わった。

皿づくりがメインだった。作るのは希望者だけでいいと思う。

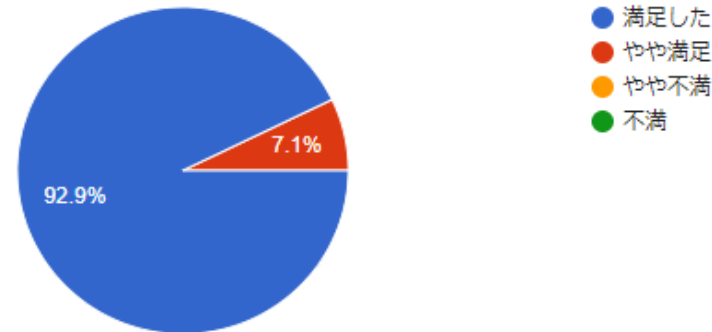
お皿に絵を描いた

28. 寮について① 滞在した寮の名前は何か？	29. 寮について②	30. 寮について③ 寮の設備(共有の設備含む)、部屋などの印象、感想、来年度参加者に伝えたいことなど
ウィルソン Wilson Dormitory	やや不満	部屋は少し暗く感じた
WI(詳しく覚えてないです)	やや不満	個人の部屋は机とベッドとクローゼットのみ。クローゼットにはハンガーはあるが取り外しができないのでハンガーは個別に持っていくことを薦める。トイレとシャワーは共用でありシャワーはバススタブ付きとシャワーのみの2タイプ。バス付きは広めのスペースだが温度調節が難しくいきなり熱くなったり冷たくなったりと安定しない。シャワーは狭いが温度調整は楽で安定する。
Park Residence	満足した	部屋は広く、クローゼットの中に五つくらいハンガーがあり(取り外しはできない)収納には困らなかった。壁は割と薄く、廊下や隣室の声は結構聞こえた。私の寮は比較的古く、ランドリー室も別の場所であり不便だった。寮によって浴室やトイレの環境の差が激しく、お風呂にドアがある寮もあったが、私の寮はカーテン一枚のしきりだった。お風呂は早めに済ませた方がきれいに使える。床が汚れていることも多いのでビーチサンダルは必須。同じ寮に男女がいて、女子たちの階をうろろする男子もいてうるさく、嫌だった。聞いた話によるとほぼ男子しかいない階に女子が入れられて、トイレ浴室が共有になることになり、寮を変えてもらったらしい。できれば男女別の寮にしてほしい。
Wilson	やや不満	私の寮は新しいらしく、すごく綺麗で快適だった。シャワーの数は3つしかないの、埋まっていると入れない。ドライヤーはないので必須。3週間もいと部屋が汚くなるので、部屋だけで履くようなスリッパやビーサンがあるといいと思った。洗濯機もあまり数がなく、夜9時ごろは混むので夕方や朝がおすすめ。部屋は綺麗で広く、特に困ることはない。
HS	やや満足	私が滞在した寮は少し臭いが良くなかったので気になる人は芳香剤などがあるといいと思う。シャワーは水の勢いが少し弱い。ドライヤーは絶対持って行った方がいい(忘れてきつかった)。部屋は1人にしては十分な広さで、机やライト、クローゼットもあり十分な設備だった。ただ、鏡がクローゼットについているものしかないのが少し残念だった。部屋用のスリッパがあるといいと思う。
Stephen Hall(HSと呼ばれる)	やや不満	部屋は落ち着いています。ベッドの脚がとても高いです。シャワーは出ない時もありましたが途中で修理されました。日本の基準で考えれば汚いと思えるかもしれませんが、不十分だなと感じたことはありません。おおかた満足のいく寮でした。
Park Residence	満足した	部屋は広く、収納も十分にある。流石に空調は無いので窓を開けることになるが、虫が入ってくるので注意すべき。また、部屋にハンガーがあるという話を聞かされていたが無かったので、念の為持って行って正解であった。寮ごとに風呂とトイレの格差が酷い。修繕もされていない。同じ料金とは思えない。不満を感じやすい人にはお勧めできない。
SB	満足した	Parkは一番綺麗で、みんなもシャワー浴びにきたりする。ラウンジに行けば絶対人がいるという話が去年あったが、今年はそんなことなかった。ボットも綺麗なものがあつたし、あまり問題はなかった。
Wilson	やや不満	各寮によって、快適さが異なる点。運によるため仕方ないが... 不都合がある場合は、事務の方に言えば、変更可能なケースもあった。
ウィルソン	やや不満	電気の中に虫が住んでいて気持ち悪かった。壁が薄いから音が気になる。
residence of Park	やや満足	寮の設備は一応清潔ではあるが、全体的に狭い。それを除けばプログラムは充実している。授業は先生が優しく、楽しく進められる。午後にはアシスタントが様々なプログラムを用意してくれる。また、ダウンタウンにバスで気軽に行けるため、ショッピングも楽しめる。また、食事もとても良い。気負わずに気軽に参加できるプログラムだと思う。
WI	やや不満	部屋はとても綺麗で落ち着ける良い部屋であった。しかし冷房設備は使用できなかった。共用トイレも綺麗であった。共用シャワーは不便な点は少なかったが、一度排水溝から水が溢れ、部屋近くまで水漏れしたことはあった。
Shirley Baker Hall	やや満足	部屋自体は十分な広さだと思う。しかし、寮によってかなり設備に差がある。特にシャワーやトイレは全然違う。私が滞在した寮は、ほかに比べて古かったため、綺麗ではなかった。どこの寮になるかは行ってからでないと分からないし、運次第だと思う。同じ研修に参加している以上、寮の設備には差が出ないようにしてほしいと感じた。
		トイレ、シャワー、洗面台は共有ですべて一つのスペースにまとめられています。トイレは学校のトイレみたいに三つならんでいて、きれいですがなんとなく嫌だなあと感じる人が多いと思います。シャワーは四つあって、早めに浴びておくと空いてるし濡れていないシャワールームを使うことができます。ただ、使った後に落ちた髪の毛を拾わないと水が詰まる原因になってしまうので、汚いと思って絶対に拾いましょう。部屋は広くてとても使いやすかったです。ハンガーはおいていなくて、あつたとしても洗濯物を干すとなると絶対に足りないの物干しロープと洗濯バサミを持っていくことをお勧めします。部屋の適当なところに結んで使いましたが、とても助かりました。洗濯についてですが、最初に洗濯機と乾燥機を回すために必要なカードを十ドルで購入する必要があります。洗濯機と乾燥機はそれぞれ一回二ドルくらい必要で、そのためのお金をさらにカードにチャージしなければいけません。友達と一緒に洗濯して、出費を減らしましょう。寮によって設備や部屋の良し悪しがありますが、どこの寮に行っても潔癖症の人とかには厳しいんじゃないかなと思います。

willson	やや不満	部屋はきれいだったが、共有のトイレとシャワーはあまりきれいではなかった。部屋の窓が開かなくて換気ができなかったのも不便だった。洗濯するときはランドリーカードの購入に10ドル、洗濯機、乾燥機を使うのにそれぞれ2ドルずつかかるため4人くらいでまとめて洗濯するのがおススメ。
WI	やや不満	部屋の大きさはちょうど良いが当たりの良い部屋と悪い部屋の差がすごい。水回りについてはたくさんの方が使うため汚れも目立つ。特にバスタブのあるシャワールームは時々水が流れなくなるくらい詰まっていた。シャワールームに行くとき、ビーチサンダルを持っていくとよい。
WI	不満	寮によってきれいさが異なる 自分の寮はめちゃくちゃ汚かった
BAKER HALL	やや満足	部屋も一人で過ごすのに十分な広さだった。
H.S(略称しか覚えてないです)	やや満足	寮で過ごすときやシャワーに行くときのためのビーチサンダルやクロックスなどがあると便利
HS	やや満足	出発前のオリエンテーションでは部屋にハンガーがあるとされたにもかかわらず、私の部屋にはなかった。
HS	やや満足	シャワーの水圧が弱く、冷たい。施設はきれいな方だった。
WI	やや不満	お風呂の設備があまりきれいとは言えなかった。空いておらず並ぶこともあった。
Richard Wilson Hall Residence	やや満足	部屋によっては鍵がかたすぎて内側から閉めにくいこともある。お風呂場にはビーチサンダルなど濡れてもいい履物を持っていくように。
HS	やや満足	寮はイメージ通りだったが、他寮とランクが違うことは知っておいたほうがいいです。同じ金額を出しているのにあたりはずれがあるので損している気分になります。
WI	やや不満	浴室
HS	やや満足	寮の自分の部屋には本当に必要最低限のものしかありません。大体の寮は、勉強机とベッド、タンスが置いてあるくらいだと思います。ハンガーがなかったのがとても不便だったので、ハンガーは持参した方がいいと思います。トイレ、お風呂は共有でした。お風呂はあまり綺麗とは言えず、少しストレスに感じている友達も何人かいました。
Park	満足した	私の寮が一番新しい寮だったので、設備に不満はありませんでした。シャワー・トイレが共有でしたが、特に困ったこともなかったです。私の部屋の窓が壊れていて、修理を頼んだのですが、結局修理屋さんが来ることはなかったです。唯一困ったことはそれくらいでした。ドライヤーは持っていくことをお勧めします。洗濯洗剤・シャンプー等は売ってはいますが、持っていくと便利だと思います。
WI	やや不満	私の寮のみエレベーターがついていないため荷物を運ぶのが大変です。誰かと協力して運ぶことをおすすめします。部屋にはクーラーがないので部屋着は調節できるものを持って行くといいかと思います。
Park residence	満足した	私が滞在した寮には、男女共用の洗濯室があり、各フロアにシャワー室とトイレが4つほどあった。また、各フロアにラウンジスペースもあり、他の学生と交流することもできた。またラウンジスペースにはお湯を沸かすポットと電子レンジがあった。部屋はとてもきれいだったが、ハウスキーパーはおらず、床がフローリングのため、滞在していくうちに床に髪の毛やホコリがたまって汚くなるので、軽い掃除用品(小さなホウキなど)やスリッパがあると良いと感じた。
HS	やや不満	シャワー室は割と汚いですが、寮によっては綺麗で、選べないので運です。
ウィルソン	やや満足	ウィルソンは1番綺麗な寮と聞いて、実際その通りで生活しやすかった。韓国人など他のアジア圏の子もいたけど皆とても優しくかった。ただラウンジの隣だったので毎晩さわがしくて眠れなかったことだけが唯一の悩みだった。

33. Optional Activity のバンクーバー旅行に参加した人にお聞きします ① 旅行中に滞在したホテルについて

14 件の回答



32. Optional Activity のバンクーバー旅行に参加した人にお聞きします② ホテルの設備、部屋などの印象、感想

※回答者15名

参加はしていないが個人で行ったのでいくつか注意といえますか述べさせていただきます。まずヘステイキングストリートは避けるように、とくにカスタウン・チャイナタウン近くのエリアは麻薬中毒者の溜まり場です。1人で不用意にいかないこと。いつも以上に警戒心をもってください。そもそもバンクーバーのダウンタウン自体が治安が悪いのでほんとに荷物と財布を取られないようにしてください。

スタンレーパークは必ず行くべきとおきます。

ホテルはきれいで、冷蔵庫やドライヤーの設備もありよかったです。ルームキーは私の場合五人部屋で五人分のキーがあり、出入りは楽だった。

歯ブラシやパジャマは用意されていないので準備した方がいい。

ホテルの部屋はとても綺麗で良い。wifiもある。

とても綺麗。設備も文句ない。

部屋がきれい。快適。

ホテルは広く、綺麗で設備もとても良かった。立地も、BCスタジアムの目の前にあり、とても良かった。

一晩泊まるだけですホテルの設備は全く問題なかったです。お風呂もトイレもとってもきれいでした。ホテルの部屋割りに行く前に学校で自分で選ぶことができました(早もの勝ちですが)。私の部屋は五人部屋でしたが、友達は二人部屋だったそうです。とりあえず一人部屋にはならないと思います。

部屋はきれいだしベッドもふかふかでとてもよかったです。シャワーの使い方だけはよくわからなかった。

きれいだった。アメニティも充実していた。

キレイでした

文句なしです

ホテルの部屋は綺麗で、ビジネスホテルのような感じでした。私は5人で1つの部屋に泊まりましたが、全く狭いとは感じませんでした。バスタオルやシャampoo、リンスーなどは、各部屋についていました。1泊だけでしたが、快適に過ごせました。

清潔で、スタッフの方の対応もよかったです。アメニティーもそろってました。

綺麗で都心へのアクセスが良い

ホテルの立地はとてもよく、冷蔵庫のある部屋で、とてもきれいだったが、5人部屋にしてはアメニティー(シャampooなど)の量が少ないと感じた。

綺麗で過ごしやすかった。こんなホテルに泊まれるのかと思うとワクワクした。

33. Optional Activityに参加した人にお聞きします Vancouver Trip, Butchart Gardens, Whale Watching, Kayaking の感想、良かった点、改善してほしい点など

※回答者24名

ButchartGardenに参加するときは本当に防寒をしっかりと、夜の時間に行くため非常に冷えます

Vancouver tripは私的には自由時間もそこそこあり楽しめた。特に水族館はスケールも大きく楽しかった。

Butchart Gardensは本当に良かった。個人で行くにはかなり遠く交通の便もよくないので、申し込んだ方が絶対にいいと思う。花火も見れてきれいだった。

バンクーバートリップとても楽しかった。でも自由時間はかなり限られているので、どこに行きたいか、事前に考えておくのがおすすめ。

時間が全体的に短かった。また、バンクーバー水族館のツアー内容は強制ではなくてもいいのではないかと思った。

Kayaking、とても楽しかったです。気持ちが穏やかになりました。現地のアシスタントの方と英語でずっと喋ることが出来たため、語学やコミュニケーションをとる練習にもなりました。友達とはなく一人で行ったのですが、逆にこっちの方が実りある、楽しいものとなった気がします。

Butchart Gardensは普通に推せる。

事前研修のみで一緒に行く友達を作るのが難しく、申し込みするのに躊躇していたら、売り切れてしまった。Vancouver tripやWhale Watchingなどは、ビクトリアに行つてからでも申し込みに余裕があるくらい定員だと嬉しかった。

Butchart Garden やKayaking はバスを出してもらったり、ツアーに参加する形の方が行きやすくて、良かったと思う。

バンクーバートリップは自由時間に町を散策できるため、ショッピングをしたり土産を買うのにはちょうどいい。また、最終日にはバンクーバー水族館にも行く。ただ、それ以外には何もなかったため、少し物足りないかもしれない。

Vancouver Tripはとても有意義なものであったが、旅の半分くらいは移動時間で占められてしまうので、もう少し自由な時間が欲しいと感じた。

Butchart Garden : とても綺麗などころで、かなり楽しめた。ガーデンの中でライブが行われていたりしていた。花火も綺麗だった。

Vancouver Tripは、やはり自由時間が限られているというのが難点でした。とても楽しかったのですが、個人でVancouverに行ってる人も結構いたのでそれも全然ありだと思えます。ただ、個人で行く方がお金はかかるような気がします。

Butchart Gardensは普通にきれいな庭園を楽しめました。花火を見ると椅子はないので、花火を見るならブルーシート的な何かを持っていった方がいいです、大きめのポリ袋とかで代用できます。

Butchart Gardensはとてもきれいな場所なので花や自然が好きならぜひ行ってほしい場所。Vancouver Tripはあまり時間がなくてダウンタウンを散策するくらいしかできなかった。ショッピングが好きなら楽しいかもしれないが、Activityではなく自分で計画して行った方がいろいろなところを回れるかも。

butchart gardens の庭園はとても綺麗で行く価値がある。写真もたくさん撮れるのでとても満足である。最後に見る花火は日本のものと全く違い、シュールだが面白かった。

カヤッキングに参加してビクトリアの自然を楽しむことができて良かった

普段できない体験ができてすごく楽しかったし、参加してよかったなと思いました。

バンクーバートリップは自由時間が短すぎた。ブッチャートガーデンは花がきれいで楽しめ、時間もちょうど良かった。

自由時間がかなりあってよかった

Butchart Gardensに参加しました。非常に綺麗でしたし、同行してくれたCAさんがいろいろと教えてくれたのもうれしかったです。

参加したアクティビティは全て楽しく大満足でした

ただ、土、日は向こうで予定がないと一日やることがないということになってしまいます

オプションアクティビティは早めに予約しないと売り切れてしまうので、もう少し説明会でオプションアクティビティについて触れてもいいのかなとは思いました(自分は早めに予約しましたが何人かアクティビティ売り切れで参加できないと言っていたので)

私はVancouver TripとButchard Gardensの2つのアクティビティに参加しました。2つとも、UVicのボランティア(CA)の方々が全面的にサポートしてくれたため、安全かつ楽しく参加することができました。特にButchard Gardensはビクトリアで有名な観光地であるため、とてもオススメです。UVicから少し遠いため、自分で行くよりアクティビティを利用した方が楽だと思います。

水族館の時間がもう少し短くてもいいと思います。

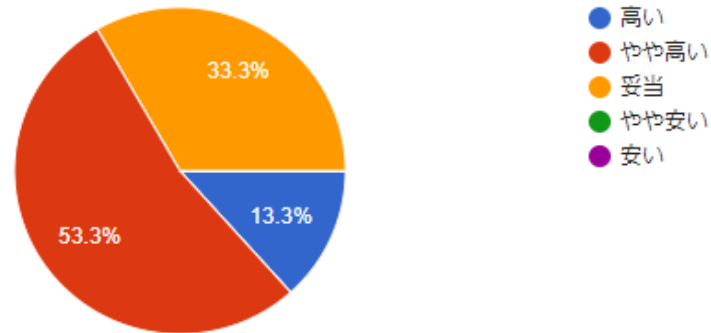
バンクーバートリップの時間が短かった

私はVancouver tripとButchard Gardensに参加したが、どちらも現地の学生さんがガイドとしてずっとそばにいてくれたのでとても安心した。またスケジュールもとても満足するものであった。

現地の水族館に行ったり沢山買い物できてとても楽しかった。本当はガスタウンなど他にも見て回りたいかったので、二泊三日だともっとのんびり楽しめたかもと感じた。

3. 研修費用について

30 件の回答



35. 食費について① 研修中の食費に(カナダドルで)大体いくら使いましたか？(ミールカード分は除く)	36. 食事について② 自炊、レストラン、カフェテリア利用など。朝食・昼食・夕食について、それぞれ、どのような場所で何を食べましたか？	37. その他の費用① 航空券、プログラム費用、保険、食費以外に(カナダドルで)大体いくら使いましたか？	38. その他の費用② 上記は何の費用でしたか？具体的に書いてください。
100	朝はカフェテリアで、昼夕はダウンタウンへ外食が多かった	400	お土産代
100	朝食・昼食 カフェテリア 夜カフェテリア内の店で買った冷凍食	400	200 個人バンクーバーの水上飛行機 100 ホテル 100 お土産など雑貨
400	朝食は寮の近くのカフェテリアで食べた。バイキング形式なので好きなものを選ぶ。 昼食は授業が終わった後にUniversity Centerでピザやハンバーガー、サラダなどを買って食べた。 夕食はカフェテリアで食べることもあったが、基本的にダウンタウンなどで外食した。いろいろなものを食べたかったので、自分で場所を探したりCAさんにおすすめの場所を聞いたりして食べた。特にCAさんのおすすめの場所ははずれがない。ダウンタウンは早い時間なら治安もいいし、店員さんも親切なので外食をすすめる。	300	お土産代と、観光地の入場料がメイン。 私は\$430持って行って、ほぼ使った。レートがよくないのでなるべく使い切った方がいいと思う。 お土産代はお菓子や洋服などを買った。余ったら空港で買い物するのもおすすめ。 カナダはどこでもクレジットカードが使えるので、現金はそこまで持っていかなくても大丈夫だと思う。

200	朝は毎食朝食専用のカフェテリア。パン、ヨーグルト、サラダ、ベーコン、など色々揃っている。しかし毎日同じなので、自分で色々選んで食べた方が飽きが来ない。 昼はほとんどカフェテリア。色々なお店が揃っていて、毎日違うものを食べられる。ハンバーガー、お寿司、パスタ、スープなど。でもアクティビティの時間的に昼を食べる時間がなくて抜く時もしばしば。 夜はカフェテリアが閉まるのがとても早くて、どこか外食したのがほとんど。毎日色々なところで食べた。マックやティムホートン、あとはちゃんとしたレストランがバスや歩きで行けるとところにたくさんあるので、そこまで散策ついでに食べに行った。でもお店によっては閉店がかなり早いので、ちゃんと調べていくことがおすすめ。	600	お土産、チップ、パブ、おやつ、自分のショッピング
300	朝食:大学内の朝食場 昼食:大学内のカフェテリア 夕食:大学内のカフェテリアかダウンタウンなどでの外食	500	お土産代
250	基本ミールカードの使える学内施設で済ませていたが、夕飯についてはキャンパス内やダウンタウンのパブも使った。	300	土産物
3	私は、朝食は必ずスターバックスに行くというルールを作っていたため、スターバックスで食べていた。昼はクラスメートとカフェテリアで食べて、夜はどこか街へ出かけるか、昼に買っておいたご飯を寮で食べたりしていた。	5	お土産代、自分の服代
100	朝食は、基本的に毎日朝食会場でウィンナーやポテトやフルーツなどを食べた。 昼食も、基本的に学内にある食堂でハンバーガーやポテトやサンドウィッチやサラダ、アイスなどを食べた。お寿司がとても美味しかった。 夕食は、昼食と同様の学内の食堂で食べたり、学内の他の食堂でハンバーガーを食べたりした。 土日はダウンタウンやアップタウンで、ピザやチキンやハンバーガーを食べることが多かった。	600	お土産代、optional activity、個人的にVancouver tripをしたこと
20000	朝昼は大学の食堂、夜は買いだめておいたものか、外のレストラン。	30000	お土産、服を買ったりしたお金
60	朝食、昼食、夕食共にだいたい校内で食べた。朝食は寮に近く施設、昼食、夕食はユニバーシティセンターで食べた。内容は朝は軽いビュッフェスタイルで、スクランブルドエッグやベーコンなど定番の朝食だった。昼と夜は主にサラダやスープ、ピザやハンバーガー、カリフォルニアロールなどを食べた。たまにダウンタウンに行き、日本料理店でうな重やうどんを食べたりしていた。	120	服、お土産
60	朝食は、One cardの使えるカフェテリアを利用した。そこは自分で食べたいものを選べるタイプなので、毎日自由に好きなものを食べた。昼食も、One cardの使える別のカフェテリアを利用した。ハンバーガーやパスタ、ピザ、サラダ、スープなどいろいろな種類があった。夕食は昼食と同じカフェテリアを利用するときもあれば、町に出てフィッシュ&チップスなどの名物を食べたりしていた。	400	お土産代
15000	朝食:朝食が食べられる大学のカフェテリア 昼食:授業のある日は大学のカフェテリア、休日はショッピングモールのフードコートやダウンタウンのレストラン 夕食:レストラン、大学のカフェテリア	50000	お土産、服、日用品、博物館などの入場料

200	朝食は朝食専用のカフェテリアで毎朝食べていました。ビュッフェ形式なので自由に食べれます。フルーツがおいしかったのでそれは毎日食べていました。 昼食はカフェテリアで食べたり、カフェテリアで買って寮で食べたりしました。カフェテリアにはいくつかお店が入っています。昼は混むので少し大変です。フィッシュアンドチップスや、ピザがおいしかったです。休日を出かけた先で食べることもありました。 夕食はカフェテリアのお店に買いに行き寮で食べたり、ダウンタウンに出かけているときはダウンタウンのレストランなどで食べました。カフェテリアは店によりますが七時にはみんな閉まってしまうので買いそびれるとつらいです。私が一度買いそびれたときは、Uvicから歩いて15分くらいのところにあるPeppers Groceryというスーパーに食料を買いに行きました。ここは平日は九時までやっています。また、朝食のときに、とっておける食べ物を買って持って帰っておくのもあります。	600	お土産代、食事代、洗濯代
300	朝食と昼食は大学のカフェテリアを利用した。夕食はダウンタウンのレストランで食べることが多かった。現地の大学のCAさんにおすすめのレストランを聞いてみると外れがない。	150	お土産、寒くて買い足したトレーナー
95	基本的に平日は毎食学校のカフェテリアを利用していた。カフェテリアはピザやハンバーガー、パスタがメインでアイスやスムージーも購入できた。休日や出かけるときは朝食だけミールカードを使ってカフェテリアで食べ、昼食や夕食はダウンタウンのお店などで食べていた。	480	持参した服だけでは肌寒いということや、記念にということで服を買ったり、買い物に行き靴を買ったりした。また化粧品やお土産にもお金を使った。
200	ピザ、ハンバーガー	400	お土産代
150	朝昼は学校内 晩は学校外のレストラン	550	お土産代 衣服等の買い物代
150	主に大学内のカフェテリア ダウンタウンのレストランに行くこともあった。	500	お土産代、洋服、化粧品
200	平日は基本3食大学内のカフェテリア、レストランで、休日は外食	400	お土産代
500	朝昼は大学内、夜はスーパーや街のレストラン	500	買い物したりお土産を購入したりした。
20	朝食は大学の朝食会場、昼は朝食時に買っておいて食堂で食べました。夜も学内のカフェテリアを主に使用しました。	50	お土産代、飲食、生活用品
20000	朝と昼はカフェテリアでパンケーキやサンドイッチ、夜はレストランでパスタやステーキ	30000	お土産代、観光施設の入場料
18000	朝昼晩共に時間を頭に入れればカードのみで済ませられます 超えてしまったときは、コンビニ(品薄)か大学内のパブ(カード不可)で食	100000	お土産とダウンなどの服
150	ワンカードを消費するために、カフェテリアで、ほぼ毎日サラダとスープを食べてました。	250	服、お土産、スニーカー
100	平日は基本的にキャンパス内の食堂やフードコートを利用しました。ここでは、初日に配られるワンカード(5万円分)を利用できるため、現金を使うことはありません。食事の種類はとて豊富です。ハンバーガーやパスタのような洋食もちろんありますが、お寿司などの和食も多くありました。休日は、ドクトリアで人気のレストランなどに行くことが多かったです。	55	お土産代、現地で買った洋服代など

150	授業のある日は朝、昼は大学内の食堂を利用し、夜はダウンタウンのレストラン・カフェに入るか、大学内の食堂で済ませました。休日は朝は大学で済ませ、出かけたときは現地のレストランを利用しました。 朝:パン、ヨーグルト、フルーツ、コーヒー、ベーコン、スクランブルエッグ 昼夜:ピザ、ヌードル、スムージー、ハンバーガー、寿司、フィッシュアンドチップス、サラダ、フルーツ	300	洋服代、お土産代、観光料金、お菓子代
200	大学のカフェテリアでハンバーガーやパスタ等	400	お土産代
100	朝食は大学のカフェテリアで、昼食は大学内のレストランで、夕食は大学内のレストランか、外出して外で食べていた。	600	お土産代、洋服代、化粧品代
200	朝食は大学の朝食会場 昼食はアクティビティが午後にある日は時間がなくほとんど食べられず、大学内の軽食を買ったり、なににも参加しない日は外食 夕食は大学内のカフェテリア	800	お土産、カナダ限定の洋服ショップ、土日を利用して計画した旅行の宿と交通費
40000	基本は学内のカフェテリア。 17時に閉まってしまうので、ダウンタウンのレストランやコンビニで済ますこともあった。	50000	お土産代、服代、チップ代

39. レンタルWi-Fiを使用した感想

良かった

問題なく使えた

外出先で地図アプリを使う時などにとても便利だった。ルーターは意外と大きくて重く、持ち運ぶにはちよつと大変だったが外出するなら絶対に必要。大学では大学のWi-Fiがあるので、使い分けていた。

良い。

良かったが、1日の制限が少し少なかった。

キャンパス内はWi-Fiがあるので外出時のみの使用だった。そのため、通信料を気にする必要はなかった。

充電しとかなないと街で急に切れる。

ギガ数がちょうどよかった

使いやすかった

大学のWi-Fiがあるので、もっと安いプランでもいいと思った。

校内にWi-Fiがあるため、アシスタント企画のプログラムに参加したり、ダウンタウンに行くことがなければほとんど使う機会はない。使い勝手はいい。

回線が切れることも少なく、とても良かった。

大学の外に出かけるときには、とても役に立った。しかし、大学にいる時は大学のWi-Fiを利用していたので、使わない日もあった。

学校ではUvicのWi-FiがあるのでレンタルWi-Fiは必要ありませんでした。寮にいてもUvicのWi-Fiは問題なく使えます。Uvicから出ると、レンタルWi-Fiは必須です。レンタルWi-Fiの容量は十分でした。

容量がたっぷりあったので速度制限を心配せずに使えてとても便利だった。大学内では大学のWi-Fiも使えるが大学の外に出たときは、グーグルマップ等を使うのにレンタルWi-Fiが役に立った。

学校や寮にいる間は学校のWi-Fiがあるため使う機会が少なく一日の限界まで使うことはあまりなかった。出かけるときには連絡をとったり調べたりするためにとても重要だった。速度も遅くなく、使い心地はよかった。

よかった

バッテリーの充電をし忘れることが多かった

大学内では大学のWi-Fiを利用していたので容量は気にならなかった。

あってよかったと思う

いつでも使えて便利であったが、ややかさばるし重い。

良かった

とても便利でした。学内のものと併用していたので使用限度も超えることはなかったです。

現地でフリーズしてしまい、使用できなかった期間がありました。学内にはWiFiが飛んでいますが、学外に出かける際に非常に困りました。かさばるのでカバンの中でスペースをとることもあり、あまりいい使用感ではありませんでした。

充電しておく（寝ているときにすれば大丈夫です）ことが大切です

特に不自由はなかったです

接続が良く、とても使いやすかったです。しかし、学校にいるときは、ほとんど大学内のWi-Fiを利用していました。

特に問題はなかったです。十分なギガ数だと思います。

大変便利

大学内のwifi環境がとても整っていたので、実質レンタルwifiを使うのは外出時だけでしたが、回線も早く使えるギガ数も十分なもので、とても使いやすかったです。

動画など見なければ1日600は余るので、余裕で使えます。

とても便利で返却したくなかった。

40. 電子機器の使用など 日本から持参した電化製品	41. 持参すればよかったと思った電化製品	42. 持参したが不要だと思った電化製品
スマートフォン、ドライヤー、電子辞書	なし	なし
スマホ 電子辞書 モバイルバッテリー ノートパソコン	なし	ノートパソコン、恐らくビジネスクラス申し込まないならいらぬ
スマートフォン、ドライヤー、ヘアアイロン、電子辞書	なし	なし
iPhone、ドライヤー、ヘアアイロン	なし	なし
スマートフォン、パソコン、アイロン、ヘアアイロン、変圧器	ドライヤー	アイロン
iPhoneSE、iPhone充電器、電子辞書	なし	なし
スマートフォン、イヤホン、ノート型パソコン、ドライヤー、ヘアアイロン	なし	なし
スマートフォン、iPad、ドライヤー、髪用アイロン、モバイルバッテリー	なし	iPad
スマートフォン、充電器	ドライヤー	なし
スマートフォンのみ	ノートパソコン	なし
スマホ、ドライヤー、コテ、電子辞書	旅先でも使えるアイロン	なし
スマートフォン、電子辞書、ドライヤー	なし	電子辞書
スマートフォン、ドライヤー、電子辞書	なし	電子辞書
スマートフォン、ドライヤー、カーラー	なし	なし(パソコンを持ってきた人もいたが課題などで使うこともなかったのではないと思う)
ドライヤー、ヘアアイロン、スマートフォン、バッテリー	なし	なし
使えました	なし	なし
携帯電話、ドライヤー、ひげそり、ノートパソコン	なし	ノートパソコン
スマートフォン、電子辞書、ドライヤー、ヘアアイロン、ノートパソコン	なし	ノートパソコン
ドライヤー、ヘアアイロン、スマートフォン、ノートパソコン	なし	ノートパソコン
スマホ、ドライヤー、変圧器、コテ、充電器	なし	なし
スマートフォン、ノートパソコン、ドライヤー、ヘアアイロン、変換アダプター、モバイルバッテリー	なし	変換アダプター
スマートフォン、ドライヤー、ヘアアイロン、ノートパソコン	なし	ノートパソコン
タブレットを持っていきましたが使わなかったです	なし	タブレット
ノートパソコンを持ってきた方が持ってこなければよかったと言っていました	なし	
スマートフォン、ノートパソコン、ドライヤー、ヘアアイロン	なし	ノートパソコン
スマートフォン、ドライヤー、充電器	なし	なし。パソコンがあれば便利ですが、なくても困ることはないと思います。
スマートフォン、モバイルバッテリー、海外対応ドライヤー・ヘアアイロン、PC(使わなかった)、電子辞書、簡易ポット	ドライヤーは持って行って本当に良かった。(特に髪が長い子)	PC
スマホ、充電器	なし	なし
スマートフォン、ドライヤー、ヘアアイロン、モバイルバッテリー	なし	なし
スマートフォン、ノートパソコン、ドライヤー、カメラ	なし	ノートパソコン
スマートフォン、ドライヤー、ヘアアイロン	ポットとアイロン	なし

43. 日本の家族、友人との連絡手段

LINE
LINE
LINE
LINE
LINE
LINE、Twitter、Instagram
LINE、Instagram
Line、電話
LINE
立教メール、ライン
LINE、Instagram
LINE
メール、LINE
LINE
LINE、Instagram
LINE
LINE
LINE
LINE
LINE
LINE
LINE、インスタグラム
LINE、Twitter
ライン 外国の方と連絡するために、フェイスブック、インスタグラムをインストールした方がいいです 自分はインスタで交換しました
LINE
LINE
line、Instagram
LINE、インスタグラム
LINE
LINE
LINE

44. プログラム中の課外活動(研修費用に含まれている活動)について

課外活動はどれも楽しいものばかりだった。
CAの盛り上げがよかった

Downtown TourはCAさんがおすすめの場所を紹介してくれたり、無料でアイスクリームを食べることができたりとても楽しかった。
Workshopは三回あって、ビーチに行ったりヒップホップダンスをしたりボードゲームをした。どれも楽しく、クラスの人とも仲良くなれる。
他にもconversation clubやCoffee Socialなど用意されている課外活動には積極的に参加した。日本人以外の人と仲良くなる機会だし、CAさんと話す機会もたくさんあるので英語にたくさん触れることができた。

goldstreamはげっこう動くので、スポーティーな服を何着か持っていくのが良い。ワークショップも、各クラスのCAさんが一生懸命考えてくださっていて、楽しめるので参加してよかった。

良かった。CAさんたちがとてもよく考えてくれた楽しいものだった。

非常に内容が多様で充実していた。キャンパスの施設内で気軽に参加できるものがあったのは助かった。
強いて不満を挙げるなら、授業終了から課外活動の集合時間までが短いことがあった事ぐらい。

ビジネスクラスがあるときは参加できていなかったが、基本的に参加したアクティビティは楽しかった。しかし、今年から課外活動が成績に入らなくなり、参加必須ではなくなった。

クラスみんなで出掛けるような活動は、仲良くなれるきっかけなれたし、他の国の方とも関わられてすごく楽しかった。しかし、全体で呼びかけられる活動は、同じ大学の友達とかたまっちゃったり、ほとんど日本人しか参加していなかったため、それならダウンタウンに行ったりしようかな、と思った。

CAが親切で、それぞれのアクティビティーが充実していた。

アシスタントが親切で優しく、とても楽しかった。スポーツイベントやムービーナイトなどが印象に残っている。

どのアクティビティも、様々な人と交流できる場であり、なおかつ私たちが楽しめるようにCAが工夫してくれていたの、とても有意義な時間であり、思い出に残るものであった。

とても楽しかった。自分のクラスメイトと仲良くなれた。いろいろな場所に行けたり、様々なアクティビティができるので良かった。

課外活動はすべてとても楽しかったし、英語でコミュニケーションが取れる言い機会だったので行ってよかったです。Culture nightは日本人の参加人数はものすごく少なかった(10人程度)けどやってよかったと思うし参加をお勧めします。改善してほしい点は特にはないです。

WorkshopはCAさんごとにやることを企画してくれて楽しかった。クラスごとでの活動だったため、この時間に日本人以外のクラスメイトとも仲良くなれた。

課外活動では現地のアシスタントの人たちと英語で会話する機会もでき、普段経験することのできないアクティビティ(クラッシュオブアローズなど)もありとても楽しかった。参加は自由だったが9割参加したし、参加してよかったと思っている。このプログラムに参加する人には課外活動に積極的に参加することをおすすめする。

CAさんが優しくて、それだけでとても充実していた

全体的に楽しかった

クラスの子と仲良くなったり、英語を話す機会にもなったので良かった。

ピクトリアの観光地にたくさん連れて行ってもらえてとても楽しかった。強制参加にすべき。

クラスの人と親交を深められた

CAさんが準備くださった活動はどれも楽しかったです。クラスメイトとも仲良くなれるきっかけにもなっていました。終了時間も遅くなくて次の日の負担にもならなかったです。

他の学生と英語を使って交流するいい機会でした。内容もボードゲームやクッキング、スポーツなど楽しめるものばかりで満足です。

絶対参加したほうがいいです
ただ、参加する前に(授業などで)外国人の友だちと一緒に回る約束をすると楽しさが10倍になります

CAとの関わりがとても楽しかったです。

ほとんどの活動に参加しましたが、現地の人と会話できる機会も増え、CAの方々が全面的にサポートしてくれるため、安心かつ楽しく参加できました。しかし、授業が終わってから午後のアクティビティが始まるまでの時間があまりなかったため、ゆっくり昼食をとることができませんでした。

CAさんたちがフレンドリーで楽しい時間が過ぎてよかった。自由参加なのはよかったが、人数に限りがあるものは事前(前日ではなく)に告知してほしいかった。
あまり参加していない人もいましたが、とても楽しいので毎回参加することをおすすめします。

授業後の課外活動は、CA(Cultural Assistants)の方々が、私たちが楽しめるように工夫して計画して下さっていたのでとても楽しく、また韓国や中国の留学生の友だちを増やすとてもいい機会でした。改善してほしい点はありません。

CAさんが楽しませてくれます。

最初にDown Townを案内してもらったおかげでその後自分で行けるようになった。Work ShopではCAが積極的に話しかけてくれて嬉しかった。

45. 自由時間(放課後、週末など)について

ダウンタウンやそのほか大学周りの街を散歩

昼で授業は終わるので、放課後はほぼ毎日アクティビティに参加していた。それ以外に友達とダウンタウンでショッピングをしたり、ごはんを食べに行ったりした。

週末は自分たちで行きたい場所をピックアップして、いろいろなところに遊びに行った。バスはOne cardがあれば無料で乗れるので観光地を巡った。

寮にいる時間は宿題をしたりしていたが、基本的に毎日外に出てさまざまな経験をした。

放課後はほぼアクティビティに参加、あとらダウンタウンやアップタウンに行ったり、ジムで動いたりなど。午前で授業はおわるので、自分次第で放課後は充実できる。

週末は2回とも私はバンクーバーへ行った。特に2回目は1人で港まで行ってフェリーに乗って、知らない海外を1人で動いてみるというのはすごくいい経験だった。

ダウンタウンやアップタウンなどに行ったり、大学内のジムに行った。

キャンパスの施設でピアノの使用、土産物の購入、アフタヌーンティー、パブで遊ぶ 等

ジムで卓球、バドミントン、バスケ、野球などをした。ダウンタウンに通って色々なお店に行った。

一人でVancouverに行ったり、シドニーやダウンタウン、アップタウンに行ったりした。optional activityがあった日も多かった。平日はジムに通う日が多かった。

街に出かける、スポーツをする等

友人とダウンタウンに食事に行ったり。ワークショップに参加したりしていた。授業後のワークショップは楽しいのでぜひ参加したほうがいいと思う。

放課後はアクティビティに参加したり、大学のジムに行ったり、街に出かけて買い物をしたりした。週末は、買い物をしたりカフェに行ったりした。

放課後: 課外活動に参加、ダウンタウンなどへ出かけた。

週末: ショッピングモールや博物館などへ出かけた。

放課後は基本的にアクティビティに参加していました。週末はダウンタウンやアップタウン、メイフェアセンターに行ったり、Optional activities に参加していました。

放課後は基本的にアクティビティに参加していた。アクティビティが終わったあとダウンタウンへ夜ご飯を食べに行くこともあった。週末はビクトリアの観光地を回ったりバンクーバートリップに参加したりして過ごした。

週末はダウンタウンやアップタウン、モールに行き、友人と買い物をしたりカフェに行ったりしていた。またジムに行ってトレーニングをしたりクライミングをしたりもした。

どこかに出かけました

友達と遊ぶか一人で町に出て地元の人に話しかけた

ダウンタウンに行ってショッピングをしたりカフェに行ったりすることが多かった。

買い物、課題、友人との団らん

友達と買い物したり大学内のジムにいくか、日帰りバンクーバー旅行をした。

Downtownに行ったり、寮で休んだり、宿題をやったりしていました。

ダウンタウンに出かけて観光、スーパーマーケットでお土産を買う、宿題をする

アクティビティに参加

ダウンタウンに行く

散歩(現地の人に話しかける)

ジム

アクティビティへの参加、ダウンタウンへ行った

週末はバスでダウンタウンに行くことが多かったです。ダウンタウンまで行けば、たくさんの有名なお店や観光地があるため、1日楽しむには最適な場所だったと思います。

友人とダウンタウン散策に出かける、ジムに行く、一人で大学周辺を散策、海まで散歩

友人と街歩き

放課後や週末はクラスの友達と積極的に外出し、課外活動に参加したり、観光地に足運んだりして過ごした。

週末旅行計画して、友人とバンクーバーに行った。キャピラノ吊り橋がおすすめ。

Down Townに行くことが多かった。

それ以外は海やUp Townに行ったり、大学内の施設を活用した。

46. ビクトリア大学の施設 (CARSA Gym、図書館) を利用した感想

ジムは使い勝手も良く満足した

利用しなかった

利用しなかった。

ジムは広くて綺麗で、せっかくOneCardに入っているのでも1回は行ってみることをおすすめ。

ジムの設備がすごく整っていた。

ジムの設備がかなり良かった。

ジムは利用した。筋トレをするにも適した設備だったと思う。広いし綺麗。

ジムがすごく充実していてよかった。図書館はあまり人がいなくて、快適だった。

ジムが充実した設備を持っていて、とても楽しかった。

ジムは大きく設備が充実しており、ボルダリングなどもできてとてもよかった。

ジムを利用した。たくさんのトレーニング設備があり使いやすくとても良かった。体育館も広く、許可を取ればいつでも卓球やバドミントンなどが出来る環境であったため、とても良かった。

CARSA Gym: クライミングができる。施設もきれいで利用しやすかった。

図書館: 静かで過ごしやすかった。

CARSA Gymでは二回ほどボルダリングをしました。わからないことがあったら近くにスタッフさんみたいな学生さんがいるので聞くことができるので安心して楽しめました。

図書館では調べ物をしたり印刷をしました。図書館の人に印刷の仕方を聞いたら丁寧に答えてくれました。印刷にはONE cardにチャージされたお金が必要になるのですが、そのお金は食べ物を買うお金とはまた別にチャージする必要があります。どこでどうやってチャージすればいいかも図書館の人が教えてくれるので大丈夫です。

利用しなかった。

ジムはとても大きく、友人と卓球やバスケ、クライミングなどを楽しむことができた。自由に使える部分が多く、体を動かしたり友人と仲良くなったりする良い機会になった。

利用しなかった

体育館は設備が整っていて充実していた

利用しなかった

ジムの設備が大学とは思えないくらいとにかく整っていた。

とてもよかった

利用しなかった

利用しなかった

ジム わからないことは受付の人に話しかけると丁寧に教えてくれる+英語を使えます

設備は完璧とっていいほど揃ってます

図書館 利用しませんでした、現地の方が図書館でどのような姿勢でパソコン(勉強)に向き合ってるかなどが見れます。

レベルの高い大学なので刺激になります。

ジムは設備が整っていてとても良かった

ジムを2回ほど利用しました。とても広くて様々な設備が整っていることに加え、ワンカードで入れるため、とても利用しやすかったです。

図書館は利用しなかった。

ジムはもっと早く利用すればよかったと感じた。いろいろなスポーツが体験できる。

図書館が非常に便利だが印刷は有料だった

Gymを利用しましたが、設備がとても良く、衛生環境も整っており、利用しやすかった。

ワークショップでジム内のヨガに参加したのが楽しかった。図書館で卒論のための本を探したが意外となかった。

ボルダリングやバスケットコートなど大変設備が整っていた。図書館は自習に最適だけれど、コピーの仕方が難しすぎた。

47. 危機管理 (研修中、危険な目に遭ったこと、避けたほうがよいと思った地域や時間帯など)

夜はどこでも気をつけるべき

夜8:30が日没だが都会ではないので非常にくらい

バンクーバーのガスタウンはビクトリアに比べると治安はよくなく、一本大通りを外れると、ホームレスや薬物中毒者のような人たちもいる。

ビクトリアのダウンタウンはホームレスが割といるが、近寄らなければ大丈夫。

ダウンタウンには割とホームレスがいて、私が食べきれなかったご飯をテイクアウトにして手に持っている、欲しい、と結構声をかけられる。日が沈むのかかなり遅くて、夜なのを忘れてしまいがちだが、9時くらいからは1人で外を歩くのは気をつけた方がいい。

夜21時以降に外出するとホームレスの人などに絡まれたと友人から聞いた。必ず友達と一緒に出歩いた方がいいと思った。

夜のチャイナタウンは大麻の匂いがするらしい。尤も、合法なのでどうこう言えるものではないが。

バンクーバーの電車で進行方向と逆向きの席に座っていた際、酔ってしまい、進行方向を向いて座っていたら、カナダ人のおじさんに怒鳴りつけられて怖かった。そのおじさんを止めようと周りの人が助けてくれたが止まらず、ずーっと怒っていた。たしかに私たちが無礼であったが、だいぶ怒鳴っていたのでびっくりした。

Vancouverからの帰りが遅くなってしまって、ちゃんと帰れるか不安になったことがあった。Google MAPで調べて行ったが、それに頼りすぎず、主要なバス停の時刻を自分で調べたり、写真を撮っておいた方が安全に帰れると思った。

夜のダウンタウンは、ホームレスがいるため避けたほうが良い。

夜のダウンタウンはやはり危険だと聞いた。

友人から聞いた話だが、バンクーバーのチャイナタウンは治安が悪いため入るのは避けたほうが良いと聞いた。

ダウンタウンではホームレスがいる。夜になると話しかけられることもある。

大丈夫でした。

また、バンクーバーのチャイナタウンは治安が悪いと聞いたので行かない方がいいと思います。

ビクトリアは夜10時くらいまで外にいても問題ないくらい平和だったがバンクーバーは少し注意が必要。メインストリートから1本外れるだけでホームレスや薬物中毒者がいるエリアに入ってしまうため、夜遅くに出歩いたり1人で行動したりするのは避けたほうがよいと思う。

ダウンタウンでたまにホームレスに声を掛けられたりするが、何もせずに過ぎたほうがよい。

ダウンタウンの裏路地

ホームレスが多かった

夜暗くなってからは、一人で出歩くのは避けたほうが良いなと感じた。

夜のダウンタウンでは大麻やマリファナが横行していたらしい。

バンクーバーは昼でも治安が悪かった。

夜遅い時間のバスは本数も少なく街灯も多くはなかったので怖ったと友達が言っていました。

特に危険は感じませんでしたが、ダウンタウンにはホームレスがいるということを知っていた方がいいかもしれません。また、少々バスの運転が荒いので、しっかりつかまるか座ってください。

危険ではありませんでしたが、必ずホームレスの方に話しかけられる機会があります
ノーサンキューではなくソーリーと言って断らないといけないと聞きました

ない。

アクティビティでバンクーバーに1泊しましたが、夜ほどでも治安が悪いため、あまり夜遅くまで外にいるのは避けた方がいいと思います。ホームレスや浮浪者がとても多かったです。ビクトリアでそのようなことを感じることはありませんでした。

ダウンタウンに21時くらいまでいたことがあったが、ホームレスが多い通りがあり、絡まれて少し怖い思いをした。

基本的に21時以降に外(特に繁華街)に出るときは、3人以上いると安心だと感じた。

日中はとても治安が良く、危険に感じたことはなかった。

なし

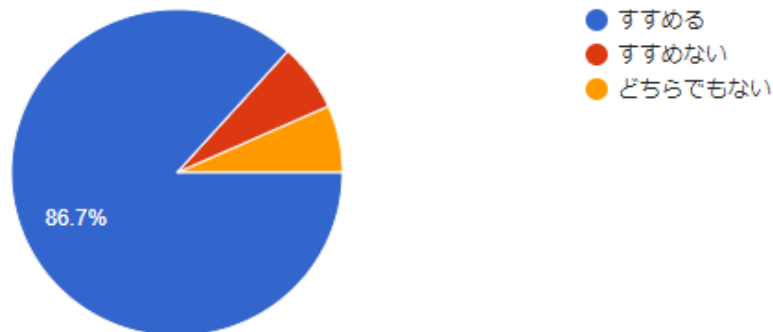
夜の8時、9時以降は、ホームレスの人たちが執拗に話しかけられたので、極力外出は避けた方が良い。特にバンクーバーでの夜の外出少し危険だと感じた。

暗くなってから、バスでダウンタウンから帰るのは良いが、大学の敷地外まで歩くと割と人通りもなく暗いので一人歩きはしない方がいいかも？ウイクトリアはよりもバンクーバーの方が治安は悪い。チャイナタウンやイーストサイドなど必ず避けるべき地域があるので、週末に自分で計画して行く人は調べた方がよい。

暗くなってから(20時以降)のDown Townはホームレスが話しかけてくるので危険という話を沢山聞いた。私自身も何回か話しかけられたけれど、貴重品をしっかり携帯し、人通りの多い所を歩いていればそこまで危険ではなかった。

17. 現地での研修を終えて② 他の学生に、本プログラムへの参加を

30 件の回答



49. 現地での研修を終えて② 上記の回答(「すすめる」「すすめない」「どちらでもない」)の理由を書いてください。

日本人ばかりだったから。

自立、価値観の变革

ビクトリアは治安がよく、安全に過ごすことができる。人も親切な人が多くフレンドリーだった。気候は日本の夏とはまったくちがって涼しく、長袖で過ごすことができるほどだった。自然が多く、町もきれいでとても過ごしやすい。

とにかくビクトリアが素敵な街で、授業で英語を学びながら、カナダという土地を存分に楽しむことができた。授業も想像よりしっかりしていて、たった3週間でもかなり勉強になったと感じる。日本の暑い夏に、涼しいビクトリアという環境はとても快適で最高な時間だった。

自分自身初めての海外留学だったので、日本人の友達が多くいて短期間のこのプログラムはとてもよかったです。しかし、もっと自分の英語力向上を目指す人や現地の人との関わりを重視する人には物足りないものかなと感じました。

大学の丰厚的な支援の下で気軽に海外を体験でき、単位にもなるという点は確かに魅力的である。

しかし参加者が日本人だらけで、英語を話さざるを得ない、あるいは自然に英語に馴染める環境に身を置けるとは言い難い。結局、他大学の者も交えてグループになって観光、という側面が強くなっている様に感じられる。

プレイスメントテスト次第とはいえ立教で必修の英語ディスカッションよりレベルが低いクラスもあり、英語圏での語学研修である必要性・大義が薄い。

承知していた事ではあるが、キャリア形成の足しにはならないだろう。

良くも悪くも本人次第な研修。

以上が理由である。

総じて楽しい。

自然の中で生活することで、すごくリラックスしたり、自分なりに色々なことを考えたり思いつききっかけになった。また、カナダの人の温かさやマナーのよさが心に響いた。日本と比べながら、日本の嫌な点や良い点を実感することができた。それらが良い経験になったので、よかったと思う。

外国に触れるという貴重な経験になる。旅行ではできない、いろんな経験ができる。

さまざまなプログラムが充実しており、とても楽しい。また、設備も充実しているため、特にストレスなく過ごせると思う。また、人がとてもやさしく、雰囲気が良い。

人生の思い出に残るような、とても貴重な経験ができるため勧めたい。

カナダは涼しく、とても過ごしやすい。研修費用に含まれているアクティビティも充実している。また、カナダ人は優しいので、うまく話せなくても理解しようとしてくれる。

この研修には日本人が多すぎたため、私はこの研修をお勧めしません。英語のレベルを向上させたいのであれば、もっといいプログラムがほかにあると思います。また、私は高校のときにホームステイを経験しましたが、ホームステイの方が絶対に英語使う機会が多いのでホームステイのプログラムをお勧めします。

落ち着いて学習できる環境が整っている上に、このプログラムをきっかけに他の国の文化や言語により強く興味を持てるようになったから。

日本では英語を使う機会を自ら作るの少し難しいが、英語を話さないといけな状況になるし、現地の人にも気軽に話しかけてくれるため英語を話す機会が必然的に生まれる。

いい経験になる

貴重な体験をすることができるから

日本ではできないような経験ができるし、違う文化や考え方に触れることができるから。

これまでにない経験が必ずにできるから。

立教生以外の友人もでき、本当にいい経験になった。

とても有意義な夏を過ごせました。私自身は初の海外渡航ということもあって不安でしたが事前のオリエンテーションなどで準備もでき、海外渡航に必要な保険などの諸準備もほとんどがJCBさんが用意してくださったので安心感がありました。私のような初の海外渡航になる人には特におすすめです。また現地では自分の英語がいかにネイティブには通用しないのか、や自分の英語の課題をたくさん見つけることができました。帰国後は語学学習へのモチベーションも上がりました。留学中にはとても気の合う大切な友人にも出会えました。本当に様々なものが得られた三週間でしたのでこのプログラムに参加しようか迷っている人にはおすすめしたいです。

他国の文化を肌で感じる事ができたし、気候や食事の味が日本人に合うと思います。現地の人がとても親切だったことも印象的でした。

素晴らしい出会いが必ずあります 島ゆえの良さを感じます カナダ人の人柄の良さ、日本との違いを必ず感じられます 帰る時に、ガイドさんが「ほんとはパスポートなくしたふりをしてここに残りたい人」と聞いたら立教生のほぼ全員が挙手をしました 3週間という短期間ではあるが、コミュニケーションを取る力がついたと思う。また、色々なところからきた学生達との交流も出来たので非常に楽しかったから。
期間もちょうど良く、しっかりと英語を勉強する時間が設けられているため。気候や治安の面でも、過ごしやすかったから。
人生で最も早く、最も濃い3週間だったから。国籍を超えたかけがえのない友人ができて、様々な価値観に触れられるととてもいい機会だと思う。初めての海外だったが、周りに数人の日本人がいる状態なので、環境的にも丁度よく過ごせた。
とにかく有意義であったから。
まずはカナダの治安がとても良いことと、人がとても親切であった。尋ねれば何でも答えてくれるし、バスを降りる時でも乗客の"Thank you"などの温かな挨拶の飛び交う国で、時間がとてもゆっくり流れる国であり、自分とじっくり向き合いながら、前向きに楽しく英語を勉強できると感じたから。
参加者に日本人が多すぎて、語学の勉強面は不十分 一度行けば誰もが素晴らしい体験が出来るという自信があるから。
50. 来年度参加者へのアドバイス
寒いので、上着は持って行った方がよい。
とにかく授業後はいっぱい外を探検いろいろな人と話しをしましょう。むろん日本人以外とだが。バンクーバーは個人で旅行計画をたててみたらいい。大学のPUBに一回は行ってみるといい
日本食が恋しくなる人もいたので、日本のお菓子を持っていったり、みそ汁などをもっていくといいと思う。寮のラウンジにはポットや電子レンジもあるので利用できる。どうしても日本人同士で固まってしまうことが多く、立教ではないが他の学校の人であまりやる気が見られない人もいたので、課外活動に積極的に参加することをおすすめする。CAさんたちはみんな優しく話しやすいし、他の国の人と仲良くなるチャンスなので、自分から行動することが大事だと思った。
また、ビクトリアは思っている以上に寒く、20℃を下回る日も多かったので、上着は必須。日本の十月～十一月くらいの服も用意した方がいい。
寮生活はかなりいい経験になる。何より日が長いので、午後を有効に使って色んなところに散策行ってみると新しい発見があって楽しい。GoogleMapを入れれば、バスの乗り換えもすぐにわかるのでそれを利用している人などに行ける。結構涼しいので、上着は必須。でも大学でパーカーなども買えるので、大量に持っていく必要はない。なくて困ったのが、セミフォーマル用の上着。薄手のカーディガンなど1枚持っているといいと感じた。帰りのパッキングではかなり荷物が増えるので、圧縮袋を数枚持ってくとタオルとか薄くできるので便利だった。
私は向こうでどのように過ごすかの計画をあまりたてずに現地に着してしまったことを後悔しているので、軽く向こうで何がしたいか、どのように過ごしたいかを予定をたててからいくと1日を無駄にしないと思うのでいいと思います。

- ・ボックスティッシュ、ハンガー、電子辞書は持って行くようお勧めする。
- ・暇なようであつという間に1日が終わるので、観光やお土産の購入は先延ばしにしない方が良い。
- ・寮は、特に風呂トイレに関し当たり外れがあるので不満を感じやすい人には参加を勧められない。
- ・ミールカードは学内全てのショップで使える訳ではなく、ほぼ朝食会場とキャンパス中央のカフェテリア専用。当然残しても換金できないので惜しみなく使うべき。ただ、現地学生によれば学内の食べ物は不味いらしい。
- ・最初は食べ物が体に合わず、腹を壊すかもしれない。
- ・食料品と日用品の物価は高い。
- ・キャンパス内をよく鹿がうろついているが、別に危険ではない。
- ・行けば英語を学べる、というものではない。自分から積極的に英語話者と関わらないと、一緒に行く相手を選べない海外旅行で終わってしまう。
- ・カナダ土産に選びがちなメープルクリームサンドクッキーは日本にもある。お土産には、murchie's tea、Rogers' CHOCOLATES、アイスワイン、ビクトリア大学のグッズなどがお勧め。
- ・エンプレスホテルのアフタヌーンティーはマジで行った方がいい。90ドルかかるけど。
- ・研修では自然にグループができる。集団へ馴染みにくく、孤立しやすく、かといって自分1人で積極的に学ぶ意欲や勇気の無い人は絶対に参加しない方がいい。寮で1人、周りの部屋から聞こえてくる笑い声に苛まれる事になる。

日本人が多すぎるため、本気で外国人と関わろうとしなければ無意味だと思う。私は3週間なるべく外国の友達を作ることに徹したが、他の立教生の中でも、全く外国の友達と関わろうとせず、60万円のカナダ旅行をただに思える生徒も多く見られる。もっと勉強しにきているという自覚を持って欲しかった。

あまり心配しすぎずに、リラックスして行って良いと思う。いい人がたくさんいるし、気の合う友達も見つかりやすいと思う。また、本気で英語の勉強をしたいなら、積極的に活動に参加したりして、友達の輪をひろげて他の国の人と話す機会を増やすことや、1人で行動してみることが良い経験になると思った。

ドライヤーは持っていくべき。

食事についてほとんど皆さん食べる人はミールカードだけでは足りないと思われる。また、買い物をする事も考えて、お金は多めに持ってくることをお勧めする。ノートパソコンを持ってくと宿題がスムーズに進む。ワークショップなど様々なプログラムに積極的に参加すると充実した生活がおくれる。また、他行や他国の友人をたくさん作ることができる。一緒にダウンタウンに行くとなお良い。

寮生活では、配属される寮によって環境は異なるが、どの寮も衛生環境は悪くなく、過ごしやすと感じた。日本から持参した方が良いものとしては、ティッシュと湿布、アイロン、上着。研修中の過ごし方としては、何もせずにただ生活していると何も得ないまま三週間が終わってしまうため、アクティビティに参加したり、様々な人に声をかけたり、街の人に話しかけてみたり、積極的に行動することが大切だと感じた。

- ・日本人の数が圧倒的に多数なので、自分からCAや日本人以外の人に話しかける、又は日本人同士でも英語を使って会話することを意識しないと、日本語ばかりになってしまい、研修の意味がなくなってしまうと感じた。
- ・なるべくアクティビティには参加する方がいい。
- ・ミールカードは、かなり頑張って使わないと使い切れない。

日本人が多いですが、CAの方や外国人と話そうとすることが非常に大切です。また、放課後のアクティビティにはできる限り参加することをお勧めします。英語でコミュニケーションをとる良い機会ですし、多額の費用を考えると行かないのはもったいないと思います。寮では早めにシャワーを浴びておくのがお勧めです。シャワールームが濡れていない状態で入れるし、空いています。日本から持参するものですが、ドライヤーとスマホがあれば問題ないと思います。パソコンを持っていくか迷いましたが、必要ありませんでした。念のためUSBは持っていた方がいいと思いますが、図書館のパソコンが普通に使えるのでパソコンは必要ないと思います。

予想以上に日本人の参加者が多かったため、英語力を高めるためには他の国の学生に積極的に話しかける姿勢が大切。そのきっかけを作るためにも午後のアクティビティには極力参加した方がいいと思う。また、現地の人がとてもフレンドリーなため、ダウンタウンに行ってお店の人などと積極的にコミュニケーションをとるのも英語力向上につながると思う。

寮の水回りはたくさんの方が共同で使う部分なので綺麗に使うことを心がけること。また、必須ではないが課外活動は参加すればするほどたくさんの人と関わる時間ができ、有意義な時間を過ごせるため、たくさん参加することをおすすめする。

英語力はある程度ないと意味が無い

日本人が多いので自分から英語に触れようとしたほうがよい
なるべく他の国の人とも話すようにすると英語を話す機会が増えてより自分のためになるのかなど思いました。
ハンガーとピンチハンガーは持っていくべき。外食は意外と高い。食べ物によるが、1食200ドル近くかかった。
積極的に英語を使うことが必要だと強く感じた。
日本とは労働に対する考え方が違うのでお店の閉まる時間も早し、ファストフード店ではつたない英語に露骨に嫌な顔をされたりもありました。少し不安に感じることもあるかもしれませんが。天候についてですが、湿度は低いので日本のようにじめじめはしていませんが日中は普通に暑いです。また緯度が高いので日焼けしやすいので日焼け止めは必須だと思います。
乾燥しているので保湿クリーム、朝と夜は寒いので上着があるといいと思います。毎日英語を喋るために、アクティビティには積極的に参加しましょう。
まず、最初のテストは必ず全力でやりましょう 自分の学力を最初に聞かれますが(日本で)、レベル3以上にしましょう 自信がないからビギナーを選ぶと損します 自信がないから一つ下のランクで答えたら損します アドバンスで答えるのがいいと思います。苦手な人も最初のテストでレベルが合うところに入るので 中2レベルの内容を日本人だけの教室で日本語の私語が聞こえる中受けたいならビギナーをお勧めします
朝と夜で気温差があるので、服は夏物と冬物を持って行くべき。お土産で荷物が増えるので、なるべくかさばるものは持っていかない。シャンプーやリンスなどは現地で買える。
3週間は本当にあっという間なので、たくさんのアクティビティに参加することを強く勧めます。アクティビティに参加しないと、授業以外で英語を話せる機会は少ないため、とても勿体ないと思います。自分からCAや日本人以外の留学生に積極的に話す姿勢を、3週間維持することがとても大切だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・最初は一人部屋で、少し寂しくも感じるが、慣れたら快適に過ごせると思う。持って行って良かったものは、ドライヤー、ビーチサンダル(シャワーを浴びに行くときや、寮内で過ごすときに便利)、ハサミ、ティッシュ、モバイルバッテリー、パーカー、サングラス(現地調達可)、風邪薬、生理用品、マスク、乾燥対策品、日焼け止め等 ・寮によっては、ハンバーガー・洗濯ばさみがないようなので、持っていくと便利(現地調達可) ・洗剤類は日本製がいい人は持っていくとよいと思う。 ・日用品は基本的には現地調達できるが、最初の2、3日はなかなか買いに行く機会がないので、それまでの分は持っていくといいかも。 ・私の場合は、まったくホームシックにならなかったが、みそ汁・チンゴ飯・カップ麺はあると安心できるかも。夕食を食べ損ねたときにも食べれる。 ・行きの時点でカバンにゆとりがないなら、ポストンバックを畳んで持っていくと便利。お土産や現地で買った服が案外かさばるため。 ・三週間は思ったよりもあっという間。後で来よう・後で買おうと考えていても、結局出来ずに終わってしまうので、早めの行動と計画が大切。 ・ワンカードは思い切って使ったほうが良いと思う。使い切るのに苦労している人が多かった。 ・朝晩は冷えるので、防寒着は持っていくとよい(現地調達可) ・水は買えるときに買っておくと安心。
特になし
日本から持っていくものとしては、部屋の床がフローリングでとても汚れやすいので軽い掃除用品(小さなホウキで十分)とスリッパが必要だと感じた。加えて気候は少し寒い方なので、長袖や上着を多めに持っていった方がよい。また、長袖は現地でも買うことができるので現地で買うのもあり。現地での過ごし方で後悔したのは、同じ学校から行った人たちとずっと一緒にいたので、結局授業以外では日本語で話してしまっていたこと。もっと韓国人や中国人の友達を作って、もっと英語を話さなければいけない状況に飛び込むべきだと思った。
日本人が本当に多いので、意識してほかの国の参加者と交流した方がよい。現地の人と話したければダウンタウンに積極的に行って買い物や外食をする。
積極的に英語を話した方が絶対に楽しい!

51. 英語力について

主に話す、聞く能力が培われた。

大学行く前に英語を聞くことを強化しましょう。こちらが伝達するのは最悪片言でもボディランゲージという最終手段があるがそれも相手が何を言っているのか聞き取れないとどうしようもないDMMの英会話講座でもなんでもいいので英語耳をつくっておくことを怠らないように

三週間なのでスピーキング力はそこまで上がらないが、リスニング力はついたように感じた。特に話すことに関しては自分で意識して話さないと、話せるようにはまらずならないので、以前より授業中に発言できるようになった。

最初は現地の人やCAさんの話すスピードが速く感じたが、最後の方では聞き取れるようになった。

自分次第かなり英語力はつく。私はクラスの韓国人に積極的に話しかけることで、英語を使う時間をなるべく増やした。生の英語を毎日聞く生活なので、聞く力はかなりつく。英語を話すことに対する抵抗というもなくなった。積極的に自分から英語を使っていくのが何よりも大切。

この短期で正直大幅な英語力の向上は望めないと思います。しかしこの期間は自分には何が足りなくて何が苦手な部分であるかを改めて知ることがいい機会になると思います。それを基に残りの大学生活、またこの先で自分がどのような勉強が必要かを考えることができます。

はっきりと自分の英語レベルが向上したという目覚は無いが、多少は英会話に慣れたように思える。コミュニケーション能力は向上したかもしれない。文法に拘らずとも、話せば伝わるとよく分かった。

私の英語力は、現状維持という感じだった。短すぎた。

正直、すごく話せるようになったとはあまり思わない。自分の英語の聞き取り能力がすごく低いことはとても実感した。3週間では身につかなかった。

リスニングは確実に上がる。スピーキングは、どれだけ自分から話せるかによって変わると思う。

授業は立教大学の一年次必修のクラスに似ている。個人のレベルに合わせたクラスになるため、授業後も現地の人やアシスタント、他国の友人と積極的に話すよう向上につながると思う。英語力が向上するかは自分の努力次第。

英語を聴く力は、三週間でも身についたと感じられる。しかし、話す力はもっとたくさんの経験が必要だと感じる。

最初は自分の英語力の無さを痛感したが、リスニング力は上がったと感じている。英語を話すことへの抵抗もなくなったし、自分から英語で話しかけることが出来るようになった。

また、英語の勉強のモチベーションもかなり上がる。

英語力は多少上がったと思いますが、研修後何もしないまままた元に戻ってしまうので、学校で英語の授業をとったり、個人的に英語の勉強を続けたりすることが大事だと思っています。

リスニング能力は3週間でかなり向上した。スピーキング能力はたったの3週間で大きく変わることはないが、自分の英語がどのくらい通用するのか確かめられるため、今後何を重点的に学習すべきなのか知ることができた。

聞く力は最初よりは少しいた気がする。個人の意識で変わるだろうが、3週間という短い期間ではあるため、とても大きい変化はないと思う。話すことに関しては、自分から意識的にたくさん英語を話せば、少しずつ会話が身についてくるということはある。

聴くことへの自信がついた、話す能力を伸ばそうと思った

聞く力は多少上がったと思う

お店やレストランなどでの日常的な会話や注文ができるようになった

以前より英語でスムーズにコミュニケーションをとることができた。

まだまだ変化は感じなかった。

授業では積極的な参加が求められました。自分の英語に自信がなくても先生やCAさんは理解しようとしてくれるのであきらめずに伝えようとする姿勢が大切だと思います。着いたばかりのころは看板やお店のメニューも英語ばかりで三週間も生活できるのか不安でしたが割とすぐに慣れます。なので積極的に街に出ていろいろ経験すると日常的に英語を使う機会が増えるしなれるしいと思います。

英語で話すことへの抵抗が薄れた。

英語も聞き取れるようになりませんが、英語にとっぴりつかれるというわけではないので、単純な英語力の向上より、英語を用いたコミュニケーションをとりたい人におすすめです

2週目くらいから、話すことに抵抗がなくなり、現地の人とも会話をたのしむことができた。
英語を話すことへの抵抗がなくなったと思います。外国では自分の意見や考え、積極性を求められるため、間違ってもいいからとにかく伝えようとする意識が強くなりました。
日常会話やネイティブの言い回しを学べた。正しい英語を流暢にしゃべれるようになるというよりは、臆せず話しかける度胸や、会話力が身につくと感じた。最初は間違えることが嫌で積極的になれなかったが、徐々に慣れて、話すことへの緊張がなくなった。
英語を話すことに恐怖心や抵抗がなくなった。ポキャブラリーはまだまだ少ないが、精神面は鍛えられた。また、リスニング力が上がったと感じた。
研修の前半と後半では、何か大きな変化があったかといえはなかったが、後半になるにつれてネイティブのスピードでの英語をなんとなく聞き取れるようになり、即座に簡単な英語ではあるが受け答えができるようになったと感じる。実感としては、英語を話すという感覚がやっと体に染み付くかもといったところで帰国してしまうという感じだったので、本当に英語をペラペラに話せるようになりたいのであれば、1年間など長期で留学した方が良かったと思った。
リーディングリスニングと、スピーキングは別物だということがわかった。研修中には特に変化はないが今後やるべきことは見えた。
自然と英語を理解できる場面があって嬉しかった。
52. 研修を通じて発見したこと、学んだこと、自分が成長したと思う点など
以前より、積極的にコミュニケーションが取れるようになった。
自立心の強化。自発性、多文化理解
英語に触れるいいきっかけになったし、自分の英語力のなさも気づくことができた。海外の人たちは日本のことをたくさん知っていて質問をしてくれるし、自分ももっと海外のことも知っていきたいと思った。
また、きちんとした文法を使えなくても、堂々と話せば伝わるのもっと自信を持って英語を話そうと思えた。
私が研修を通じて気付けたのは、国ごとの雰囲気の違いだ。バスを降りる時はみんながThanksと言い、渡るときには必ず車が止まり、ピクトリアの人柄の良さというのにすごく感動した。日本人にはない優しさだな、とすごく感じ、帰国後は自身もそういう小さな優しさができるようになりたいと思えた。
自分の成長の点では英語力はもちろん、積極的性がかなりついたと思う。というのも自分から発言だったり行動が私はかなり苦手だったが、1人でバンクーバー往復したり、お店でのサイズの交換をしたり、授業で発言したり、そういった経験を通して自分から動くことにあまり抵抗を感じなくなった。自分の意思次第でなんでも変えられるんだ、ということに気付いた。これからは消極的になりすぎず、主体的な行動というのを心がけようと思う。
どれだけ日本での自分の考え方や視野が狭いかを考えさせられました。いい意味で自分がどのようなパーソナリティなのかを見失う機会でした。日本に戻ってこの経験をどのように活かすかが一番大事だと思うので、できるだけ毎日雄無駄にしないいいものにしようと思つて心から実感するものでした。
地球のほぼ反対側にある、人種も文化も違う国家に行ったが、意外と自分達と変わらない事に気づいた。特に偏見を感じる事もなければ、生活において極端に日本と勝手が違うものもなく、「外国」に対し抱いていた距離感が実際には存在しないのだと実感した。それこそ、こちらとあちらを隔てている者は言語の壁くらいと言えるだろう。だがその言語を正確に使いこなせずとも意思は十分伝わった。難しく考えて消極的にならずに一度体験してみれば、意外と「どうにかなる」のだと学べたいい機会と言える。
初の海外体験となった今回の研修を通して、よく分からない、何が起るか不安だ、日本より不便そう、という外国へのネガティブな認識は払拭できた。この体験と成長を活かし、また海外での活動に挑戦したい。
成長はあまり感じられていない。しかし外国の友達ができ、今も連絡を取り続け合う約束までしている人もいる。そういう面ではよかったとかがえられる。
まず、英語については、やはり世界の共通言語は英語だなあ、と再認識した。韓国の友達や、現地の人と話せるように、もっと英語を使えるようになりたい。韓国の子はみんな英語が上手だなと思った。また、先生やレストランの定員さんなどと話して、圧倒的に聞く能力が低いと痛感した。
次に、物の考え方が少し変わった。今までは、他人からの評価を気にすることが多かったが、カナダに行ってから、もっと自分がやりたいことを優先して生きてもいいのかな、と思うようになった。綺麗な空や海や湖が広がっていたり、動物が身近にいるという自然の中で生活できた環境が自分にはあってたんだと思う。
また、海外での生活の仕方もあるんだ。チップの出し方や、カードと現金の使い方などを知ることができた。
最後に、もっと色々なことに挑戦してみようと思った。自分の専攻の話になってしまいが、カナダでは北極の研究が盛んであるということを知って、すごく興味が湧いた。また、自然公園なども多く、自然に関わる人や、仕事が多いため、自分も将来このような場所に身を置きたいと思った。そして、これからもっと英語はもちろんのこと、他のことも勉強しないといけないな、と実感できたし、勉強したいと思えた。
外人に対する見方、例えば韓国人の友達が出来て、韓国に対する見方が変わった。

失敗を恐れず積極的に話しかけることが大事だと感じた。聞く、話すことについてはとても充実しているため、文法や単語力をつけた状態でいけば英語力はとても向上すると思う。文法や単語力を上げることが課題だと思った。

私は今まで海外の人に話しかけたり、話をするのがとても苦手だった。しかし、この研修に参加して多くの違う国籍の友達が出来た。自分から話しかけていくことが出来るようになり、異文化交流を楽しんでいることができた。それは成長だと感じている。また、日本と他国との違い、良い点、悪い点双方の点を学んだ。他国で生活し、他国の人と交流することで、自分の視野が広くなり、価値観が変化したように思う。また3週間の寮生活を通じて、自立する力をも、少し身につけられたと感じる。

自分から行動することが大切だと改めて実感した。英語を話すことも友達を作ることも、受け身では何も得られないので積極的に行動していくことが大切だと思った。

カナダでしか経験できないことがたくさんできたので、この研修に参加してよかったと感じている。

私のクラスには韓国人、コロンビア人、ブラジルの方がいらっしやったので、カナダだけでなくそれらの国への興味がわいたり、文化の違いを経験することができました。また、この研修を通して英語力もそうですがそれよりも積極性をのばすことができたのではないかと思います。

研修を通して一番変わったと思う点は、英語はもちろんのこと、他の国の言語や文化により興味を抱くようになったことだ。今までは自分の教養のために英語を学ぶという感覚が強かったが、研修を受けたことで、勉強としての英語ではなくその国の文化を学ぶ手段としての英語という意識で楽しく学習できるようになった。

自分から日本人以外の人に話しかけようとしていたことや、アクティビティに参加しようとしていたこともあり、何事にも積極的に取り組むことができた。また毎日日記を書いて担当の先生に添削してもらったということもあり、以前より積極性と自主性を持つことができたと思う。また、日本、カナダ、韓国、中国によって文化が違うことは当たり前だが、互いの文化を尊重して受け入れることが重要だと思った。

日本はとても安全な国で人もよいが、街の人の温かさという点でみると、ビクトリアの人はいつも笑顔で急かsekあせておらず、温かみがあると感じた。

リスニング力、コミュニケーション能力

日本人に比べ中国人と韓国人の英語力が圧倒的に高く驚いた
文法を身につけるだけでなく会話力を身につける必要があると感じた

日本よりも、違った文化を持つ人がいることへの理解のようなものが出来ているなど感じました。もっと英語を話せるようになりたいと思えし、頑張ろうと思えるきっかけになりました。

普段も英語を使わなければならないため、スピーキング、リスニング能力を伸ばすには最適であると感じた。英語が完璧に理解できない分、分からないけどまずはやってみようというチャレンジ精神がついた。

お店の人やCAなど積極的に英語でしゃべることができた。コミュニケーションをはかる努力ができた。

先ほども書きましたが初めての海外渡航だったのでとにかく何もかもに不安を感じていました。ですが、そんなに不安になる必要もなかったなと今では思っています。またカナダに三週間いたことでカナダと比較することで日本の文化や社会を見直すこともできました。自分が当たり前だと思っていた生活が日本の文化に強く根強いいるんだなと気づけたことは大きな発見です。もともと引っ込み思案で挑戦できない性格だったので海外に行きたいと思っても踏み出せなかったのですが今回の研修を通して他の国にも行ってみたいと思えるようになりました。そういう意味でも私の世界は広まった気がします。

海外に行くこと自体に消極的でしたが、参加して文化を知ったり教えたりすることの楽しさや、自国の良さ、他国の良さを学ぶことができました。視野が人がったように思います。また、自律的にもなると感じています。

自分は留学をすることで「英語でしか会話できない人とコミュニケーションを取らなければならない環境を受動的に得たい」と思って参加しましたが3日目あたりから積極的にならなければ英語を授業でしか使わずに3週間終わってしまうと察して、一生懸命コミュニケーションを取りました。

その様な点で、コミュニケーションを取るという点は日本よりはるかに行き成長できました。

自分から行動する力、発言する力。

やろうか迷ったら、躊躇わずにやろうと思うようになりました。日本人はどうしても人目を気にする傾向があると思います。最初の方の授業でも、日本人はあまり自分から発言せず、他の国の子が発言することが多かったです。そのような姿勢に刺激されて、これからはもっと積極的に自分を発信できるような人にならないといけない、研修中強く感じました。

- ・最初は緊張して食べ物の注文もままならなかったが、最終的には店員さんと軽い雑談や、現地の人に道を聞くことができるようになった。
- ・現地の大学生の姿を見て、自分の残りの大学生活をどう使うべきか、考えるきっかけになった。
- ・中国人、韓国人といった英語圏以外の外国人と接する機会もあり、文化の多様性や英語の必要性を強く感じた。
- ・3週間、初めて会う人と普段とは違う環境で生活を共にするという経験は貴重で、少しは自立できたと思う。

現地では英語の勉強だけでなく、様々な土地や国の人と関わることで、多様な価値観や文化についても学ぶことが出来た。また、街で困っている時に地元の人々に助けられて、人の温かさを知ることができた。知らない土地で生活することは不安も多かったけれど、今までで一番有意義な夏になったと感じている。

私が今回のカナダ研修で成長したと感じる点は、"他者を尊重すること"だ。カナダに行っているいろんな人と触れ合う中で、自分とは違う考え方や価値観の人がたくさんいた。その中で、どうすればその人たちと付き合っていけるかということを考えたとき、まずは"こういう考え方もあるんだ"とその人自身とその考え方を受け入れることがとても大切だと思った。これは国籍もバックグラウンドも違う人たちと一緒に過ごす中で自然と身についた考え方だと思う。

さらにこの考え方は自分の日常生活にもとても生かされるものであると感じている。

ライティングを頑張ろうと思えた。

英語学習へのモチベーションがとても上がった。政治的には仲の悪い隣国のアジアの学生達と英語でつながり、仲良くなれた事が嬉しかった。受け身ではこれからの世界では生きていけない事を痛感した。